

2027 年度

群馬県立女子大学大学院（修士課程）

**文 学 研 究 科
学 生 募 集 要 項**

一般選抜
外国人留学生特別選抜
社会人特別選抜
シニア特別選抜

文 学 研 究 科 の 案 内

日本文学専攻
英米文化専攻
芸術学専攻
複合文化専攻

目 次

□ 群馬県立女子大学大学院の目的	1
□ 入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
□ 一般選抜	2
□ 外国人留学生特別選抜	7
□ 社会人特別選抜	12
□ シニア特別選抜	17
□ 群馬県立女子大学大学院文学研究科の案内	21
◎ 日本文学専攻の特色と研究指導・授業科目	22
◎ 英米文化専攻の特色と研究指導・授業科目	27
◎ 芸術学専攻の特色と研究指導・授業科目	31
◎ 複合文化専攻の特色と研究指導・授業科目	35
□ 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例の実施について	40
□ 長期履修学生制度の案内	40
□ 大学院修学休業制度の案内	40
□ 障害等により受験上の配慮を必要とする方の出願について	41
□ 出願書類等（別ファイルにて掲載）	

群馬県立女子大学大学院の目的

本学大学院の目的は、新しい知識、情報及び技術があらゆる領域での活動の基盤として重要性を増す社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材の養成を図るとともに、広い視野に立って精深な学識を授け、研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことにあります。

学部で学問を修めることの意義を実感してさらに高度の研究を志される方のほか、大学卒業後、社会で活躍される中で改めてその社会での経験を通して形成された問題意識などを整理したり、キャリアアップの必要を実感されたりしている方、さらに、学部で何を学んだかということにこだわることなく、新たなる課題に意欲的に取り組もうとされる方や留学生の方などと、研究し学ぶことの楽しさを分かち合いたいと思っています。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、伝統的な学問研究の基本的な枠組みを維持して専門分野の研究に必要な素養を身につけた人材の育成を図るとともに、高度の学業及び研究を積んだ研究者並びに高度の専門性に裏付けられ、様々な職域及び地域の発展に寄与し得る人材を育成することを目的としています。

そのため、本研究科は、人間と社会への深い関心と知的好奇心に富み、専門性の高い研究に取り組むために必要な基礎的知識と学力を有する人を求めています。

その上で、各専攻は次のような学生を求めています。

- ・日本文学専攻
 1. 日本語・日本文学に強い関心を持ち、現代の国際化社会の中でその意味をより深く探究したい人
 2. 日本語学、日本文学、漢文学、日本語教育学のいずれかの分野についての基礎的な知識を持ち、さらにそれを深めたい人
 3. 本専攻で培われた専門的能力をいかし、学校教育、社会人教育、外国人への日本語教育などの分野で社会貢献を目指す人
- ・英米文化専攻
 1. 英語を通して見えてくる世界に強い関心と問題意識を持つ人
 2. 英語の文献を読みこなす基本的な語学力と、英語学、英米文学、英米文化のいずれかの分野についての基礎的な知識を備え、さらにそれらを深めたい人
 3. 本専攻で養った専門的能力を用い、英語教育の現場や英語力をいかした分野での社会貢献を目指す人
- ・芸術学専攻
 1. 芸術全般に広く興味を持つ人
 2. 美学、日本美術史、西洋美術史、アートマネジメント、美術実技のいずれかの分野に強い関心を抱き、美学と美術史、アートマネジメントについてはその基礎知識を持ち、美術実技においては独自の発想や豊かな感性を有し、素描力と色彩表現力を備えた人
 3. 本専攻で追究した専門性をいかすことで、アートの現場の他、広く社会に貢献したいと考えている人
- ・複合文化専攻
 1. 広く文化一般に対して飽くなき好奇心を持つ人
 2. 情報、メディア、社会、文化のいずれかの領域に対し強い関心を抱き、その専門対象についての基礎的知識を有する人
 3. 専門的知識を深め、その成果を世界に向かって発信し、専門性を活かして社会で活躍したいと考えている人

入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、次の選抜方法を基本方針としています。

- ・専門科目では、専門分野の知識や技能、思考力、発想力、表現力を評価する。
 - ・口述試験では、専門分野に対する関心度や問題意識、主体性、専門分野の知識や技能、思考力、発想力、表現力、社会貢献に対する意欲を評価する。
 - ・出願書類では、専門分野の知識や技能、主体性、思考力、発想力、表現力を評価する。
- また、多様な学生を評価するために、一般選抜、学内進学選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜、シニア特別選抜を実施します。

一般選抜学生募集要項

2027 年度学生募集は、2 期（第Ⅰ期は 9 月、第Ⅱ期は 1 月）に分けて行います。

1 募集人員

専攻名	募集人員 (第Ⅰ期、第Ⅱ期合計)
日本文学専攻	5 名 (男女)
英米文化専攻	5 名 (男女)
芸術学専攻	5 名 (男女)
複合文化専攻	3 名 (男女)

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者又は 2027 年 3 月までに卒業見込みの者
 - (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は 2027 年 3 月までに授与される見込みの者（大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者又は授与される見込みの者）
 - (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
 - (8) 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
 - (9) 2027 年 3 月までに、大学に 3 年以上在学し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (10) 2027 年 3 月までに、外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (11) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者
- (注) 出願資格(9)、(10)又は(11)により出願しようとする場合は、本学大学院において出願資格の認定を行います。下記の期日が資格審査申請締切日となっていますので、本学事務局入試広報係に早めに申し出てください。

【第Ⅰ期】 7 月 31 日(金)

【第Ⅱ期】 11 月 27 日(金)

3 出願期間

【第Ⅰ期】 2026 年 9 月 1 日(火)から 9 月 7 日(月) (必着)

【第Ⅱ期】 2027 年 1 月 4 日(月)から 1 月 12 日(火) (必着)

4 出願手続

- (1) 入学試験料 30,000 円

所定の振込用紙にて振り込んでください。

(2) 出願方法

出願は、以下の(3)の出願書類等を整え、持参又は郵送することにより行ってください。
郵送で出願する場合は、書留速達郵便で送付してください。

(3) 出願書類等

書類等の名称	備 考
①入学願書	所定の用紙
②受験票・写真票等	所定の用紙 (写真は出願前3か月以内に撮影したもので、無帽上半身、正面向き。 裏面に氏名を記入すること。) (入学試験料(30,000円)に係る振込用紙の一番右側の「払込受付証明書(大学提出用)」を、所定の欄に貼付すること。)
③成績証明書	出身大学が日本語又は英語により発行した原本(コピーは不可) ※追加で資料を求めることがあります。 【中華人民共和国の高等教育機関を卒業した場合】 中国高等教育学生信息网(CHSI: China Higher Education Student Information)又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「成績認証報告書」の英語版を提出すること。
④卒業(見込)証明書等	出願資格にかかわるもの(出身大学等の卒業(見込)又は修了(見込)証明書原本(コピーは不可)) 注1: 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者については学位授与証明書、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書(ともに大学改革支援・学位授与機構が発行したもの)を提出すること。 注2: 出願資格(6)による出願者は、学位授与証明書や学位記など、授与された学位を証明する書類を提出すること。 【中華人民共和国の高等教育機関を卒業した場合】 中国高等教育学生信息网(CHSI: China Higher Education Student Information)又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「高等教育学歴認証」の英語版を提出すること。
⑤卒業論文等	
日本文学専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学(漢文学を含む)・日本語学・日本語教育学に関する卒業論文、卒業論文の中間報告書、論文、レポートのうちのいずれか一つの写し1部(なお、卒業論文以外は8,000字程度。それを超過しても可。)
英米文化専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 英語学・英米文学・英米文化に関する卒業論文、卒業論文の中間報告書、卒業論文に代わる論文のうちのいずれか一つの写し1部(なお、卒業論文以外は、日本語の場合4,000字以上、英語の場合1,500語以上)
芸術学専攻	【第Ⅰ期】 美学あるいは美術史、アートマネジメントに関する小論文(4,000字程度)の写し1部、もしくは1年以内に制作した作品ないしその全体像がわかる写真 【第Ⅱ期】 美学あるいは美術史、アートマネジメントに関する卒業論文の写し又はそれに相当する論文(12,000字以上)の写し1部、もしくは卒業制作又はそれに相当する作品、ないしはその全体像がわかる写真及びポートフォリオ1冊
複合文化専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 卒業論文、もしくは本専攻で研究しようと考えている学問領域に関する小論文(4,000字程度)の写し1部

⑥研究計画書	所定の用紙
⑦受験票等送付用封筒	市販の封筒（長形 3 号規格 120mm×235mm）に、住所及び氏名を明記し、定形郵便物(50g 以内)の速達料を含めた最低料金（410 円分）の切手を貼付してください。
⑧宛名票	所定の用紙

(4) 出願書類等の提出先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395- 1
群馬県立女子大学 事務局 入試広報係

5 選抜方法

(1) 試験科目等

入学者の選抜は、試験、論文及び研究計画書等を総合して判定します。

ア 試験科目

専攻名	専門科目	口述試験
日本文学	【第Ⅰ期】 日本文学、日本語学、漢文学、日本語教育学に関するものから選択	【第Ⅰ期】 論文及び研究計画書等について 【第Ⅱ期】 日本文学・日本語学・漢文学・日本語教育学に関すること、論文及び研究計画書等について
英米文化	【第Ⅰ期】 英語	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文及び研究計画書等に関する質疑応答
芸術学	【第Ⅰ期】 美学（英語を含む）、日本美術史（古文・漢文を含む）、西洋美術史（英語を含む）、アートマネジメント（企画立案）、美術実技（鉛筆デッサン）のうち、選択希望の領域に関するもの ※美学、美術史、アートマネジメントは小論文も含む ※美学、西洋美術史の英語は辞書（紙媒体のみ）持ち込み可 【第Ⅱ期】 小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文、作品及び研究計画書等について
複合文化	【第Ⅰ期】 文化資源学、社会学、論理学、メディア論に関するものから選択	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文及び研究計画書等について

イ 試験日時

専攻名	【第Ⅰ期】2026 年 9 月 28 日(月)	【第Ⅱ期】2027 年 1 月 25 日(月)
日本文学	専門科目（10：00～12：00） 口述試験（13：00～）	口述試験（13：00～）
英米文化	専門科目（10：00～12：00） 口述試験（13：00～）	口述試験（13：00～）
芸術学	専門科目（10：00～12：00） 口述試験（13：00～）	専門科目（13：00～14：00） 口述試験（15：00～）
複合文化	専門科目（10：00～12：00） 口述試験（13：00～）	口述試験（13：00～）

(2) 試験場

群馬県立女子大学（群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1）

(3) 受験上の注意事項

- ・試験当日は、受験票を必ず持参してください。なお、受験票を持参しない場合には、受験を許可しないことがあります。
- ・専門科目試験において試験開始から 30 分を超える遅刻をした者、口述試験及び面接試験の受付時間内に受付をしなかった者については、受験を認めません。なお、遅刻等の理由が試験当日の公共交通機関の事故又は災害による場合は、試験時間の繰り下げ等の特別措置を行うことがありますので、速やかに本学事務局までご連絡ください。
- ・試験当日の疾病・負傷によって受験できなかったことによる特別措置は行いません。また、試験時間中の発病等によって一時休養した者についても、試験時間の延長は認めません。

6 合格発表

【第Ⅰ期】2026 年 10 月 8 日(木) 午前 10 時 【第Ⅱ期】2027 年 2 月 4 日(木) 午前 10 時

(注) 本学ウェブサイト上に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。なお、電話等による合否の照会には一切応じません。

7 入学手続

(1) 入学手続期間

【第Ⅰ期】2026 年 10 月 9 日(金)から 10 月 19 日(月)

【第Ⅱ期】2027 年 2 月 5 日(金)から 2 月 15 日(月)

(2) 合格者には合格通知書とともに、入学手続に必要な書類を郵送します。

(3) 所定の期日までに入学手続をとらない場合は、入学辞退者として扱います。

8 入学料・授業料等

(1) 入学料

2026 年度の額は次のとおりですが、2027 年度分については変更されることもありますので、本学事務局入試広報係まで照会してください。

種別	県内者及び本学の卒業生	県外者	備 考
金額	141,000 円	282,000 円	入学手続時に納入

(注) 県内者とは、下記の時点で本人、配偶者又は一親等の親族（父母又は子）のいずれかが引き続き 1 年以上群馬県内に住所を有している者としてします。

【第Ⅰ期】2026 年 10 月 1 日現在 【第Ⅱ期】2027 年 2 月 1 日現在

※入学手続においては、入学料のほか、所定の保険料等の納入が必要となります。

(2) 授業料

2026 年度の額は次のとおりですが、2027 年度分については変更されることもありますので、本学事務局入試広報係まで照会してください。

授業料 535,800 円（年額） 2 期分納（前期分 267,900 円、後期分 267,900 円）

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 納入時期は、前期分は 4 月(入学初年度のみ 6 月予定)、後期分は 10 月の予定です。

9 その他

(1) 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

(2) 一度受理した出願書類及び入学試験料は、返還しません。ただし、次のいずれかに該当する場合は入学試験料を返還しますので、本学入試広報係までお問い合わせください

- ・出願書類に不備等があり、受理されなかった場合
- ・重複して振り込むなど、所定の金額より多く振り込んだ場合
- ・入学試験料を振込後、本学に出願しなかった場合

- (3) 受験票は郵送しますが、下記の期日までに到達しない場合は、必ず本学事務局入試広報係まで連絡してください。

【第Ⅰ期】2026年9月18日(金)

【第Ⅱ期】2027年1月18日(月)

- (4) 過去の試験問題の閲覧・複写ができます。詳しくは本学事務局入試広報係にお問い合わせください。

10 学生募集に関する問い合わせ先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

群馬県立女子大学 事務局 入試広報係

電話 0270-65-8511

なお、さらに本学についての情報を得たい方は、本学ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.gpwu.ac.jp/>

外国人留学生特別選抜募集要項

1 募集人員

専攻名	募集人員 (第Ⅰ期、第Ⅱ期合計)
日本文学専攻	若干名 (男女)
英米文化専攻	若干名 (男女)
芸術学専攻	若干名 (男女)
複合文化専攻	若干名 (男女)

2 出願資格

次の(1)から(3)に該当する者とします。

- (1) 日本の国籍を有しない者
 - (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学院入学資格に支障のない在留資格（留学、就学等）を有する者又は取得見込みの者で、次の①から⑪までのいずれかに該当する者
 - ①大学を卒業した者又は2027年3月までに卒業見込みの者
 - ②学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2027年3月までに授与される見込みの者（大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者又は授与される見込みの者）
 - ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
 - ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
 - ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣の指定するものの当該課程を修了した者
 - ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑦文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - ⑧専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
 - ⑨2027年3月までに、大学に3年以上在学し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - ⑩2027年3月までに、外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - ⑪本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達する者
- (注) 出願資格⑨、⑩又は⑪により出願しようとする場合は、本学大学院において出願資格の認定を行います。下記の期日が資格審査申請締切日となっていますので、本学事務局入試広報係に早めに申し出てください。

【第Ⅰ期】 7月31日(金)

【第Ⅱ期】 11月27日(金)

- (3) 次のいずれかに該当する者

- ①過去において独立行政法人国際交流基金・公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」においてN1又は1級に合格した者
- ②独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」を受験し、直近の試験を含む2回分（1年間）のどちらかにおいて、読解・聴解・聴読解の合計の得点が280点以上の者
- ③日本の大学を卒業した者又は2027年3月までに卒業見込みの者

独立行政法人国際交流基金・公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」については、公式ウェブサイトのFAQを確認の上、次に問い合わせること。

公式ウェブサイト：<https://www.jlpt.jp/faq/index.html>

日本で受験した場合：日本語能力試験（日本国内）受付センター（日本国際教育支援協会）

電話：03-6686-2974（海外からの場合 +81-3-6686-2974）

海外で受験した場合：国際交流基金日本語試験センター又は受験地の実施機関

メール：jlptinfo@jpf.go.jp

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」については、次に問い合わせること。

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI 横浜ビル7階

独立行政法人日本学生支援機構 日本留学試験受付センター

電話：0570-55-0585（一部携帯電話、IP電話及び海外からは045-620-7243） FAX：045-620-7962

3 出願期間

【第Ⅰ期】2026年9月1日(火)から9月7日(月)（必着）

【第Ⅱ期】2027年1月4日(月)から1月12日(火)（必着）

4 出願手続

(1) 入学試験料 30,000円

所定の振込用紙にて振り込んでください。

(2) 出願方法

出願は、以下の(3)の出願書類等を整え、持参又は郵送することにより行ってください。

郵送で出願する場合は、書留速達郵便で送付してください。

(3) 出願書類等

書類等の名称	備 考
①入学願書	所定の用紙
②受験票・写真票等	所定の用紙 (写真は出願前3か月以内に撮影したもので、無帽上半身、正面向き。裏面に氏名を記入すること。) (入学試験料(30,000円)に係る振込用紙の一番右側の「払込受付証明書(大学提出用)」を、所定の欄に貼付すること。)
③成績証明書	出身大学が日本語又は英語により発行した原本(コピーは不可) ※追加で資料を求めることがあります。 【中華人民共和国の高等教育機関を卒業した場合】 中国高等教育学生信息网(CHSI: China Higher Education Student Information)又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「成績認証報告書」の英語版を提出すること。
④卒業(見込)証明書等	出願資格にかかわるもの(出身大学等の卒業(見込)又は修了(見込)証明書原本(コピーは不可)) 注1: 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者については学位授与証明書、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書(ともに大学改革支援・学位授与機構が発行したもの)を提出すること。 注2: 出願資格(2)⑥による出願者は、学位授与証明書や学位記など、授与された学位を証明する書類を提出すること。 【中華人民共和国の高等教育機関を卒業した場合】 中国高等教育学生信息网(CHSI: China Higher Education Student Information)又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「高等教育学歴認証」の英語版を提出すること。

⑤卒業論文等	
日本文学専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学（漢文学を含む）・日本語学・日本語教育学に関する卒業論文、卒業論文の中間報告書、論文、レポートのうちのいずれか一つの写し1部（なお、卒業論文以外は8,000字程度。それを超過しても可。）
英米文化専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 英語学・英米文学・英米文化に関する卒業論文、卒業論文の中間報告書、卒業論文に代わる論文のうちのいずれか一つの写し1部（なお、卒業論文以外は、日本語の場合4,000字以上、英語の場合1,500語以上）
芸術学専攻	【第Ⅰ期】 美学あるいは美術史、アートマネジメントに関する小論文（4,000字程度）の写し1部、もしくは1年以内に制作した作品ないしその全体像がわかる写真 【第Ⅱ期】 美学あるいは美術史、アートマネジメントに関する卒業論文の写し又はそれに相当する論文（12,000字以上）の写し1部、もしくは卒業制作又はそれに相当する作品、ないしはその全体像がわかる写真及びポートフォリオ1冊
複合文化専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 卒業論文、もしくは本専攻で研究しようと考えている学問領域に関する小論文（4,000字程度）の写し1部
⑥研究計画書	所定の用紙
⑦受験票等送付用封筒	市販の封筒（長形3号規格120mm×235mm）に、住所及び氏名を明記し、定形郵便物（50g以内）の速達料を含めた最低料金（410円分）の切手を貼付してください。
⑧宛名票	所定の用紙
⑨パスポートの写し	
⑩日本語能力試験・日本留学試験成績等（出願資格(3)①又は②に該当する者のみ）	次の①②のうち、どちらかを提出すること。 ①「日本語能力試験」を日本で受験した場合：「日本語能力認定書兼可否結果通知書」（写）及び「認定結果及び成績に関する証明書」 「日本語能力試験」を海外で受験した場合：「日本語能力認定書」（写）及び「認定結果及び成績に関する証明書」 ②「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書（写）及び受験票（写）
⑪履歴書	所定の用紙

（注）卒業論文又はそれに類するものを外国語で作成したものは、日本語の要約を併せて提出すること。

（4）出願書類等の提出先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1
群馬県立女子大学 事務局 入試広報係

5 選抜方法

（1）試験科目等

入学者の選抜は、試験、論文及び研究計画書等を総合して判定します。

ア 試験科目

専攻名	専門科目	口述試験
日本文学	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学あるいは日本語に関する小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学・日本語学・漢文学・日本語教育学に関すること、論文及び研究計画書等について
英米文化	【第Ⅰ期】 英語	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文及び研究計画書等に関する質疑応答

芸術学	【第Ⅰ期】 美学（英語を含む）、日本美術史（古文・漢文を含む）、西洋美術史（英語を含む）、アートマネジメント（企画立案）、美術実技（鉛筆デッサン）のうち、選択希望の領域に関するもの ※美学、美術史、アートマネジメントは小論文も含む ※美学、西洋美術史の英語は辞書（紙媒体のみ）持ち込み可 【第Ⅱ期】 小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文、作品及び研究計画書等について
複合文化	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 専攻したい分野に関する小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文及び研究計画書等について

イ 試験日時

専攻名	【第Ⅰ期】2026年9月28日(月)	【第Ⅱ期】2027年1月25日(月)
日本文学	専門科目 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)	小論文 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)
英米文化	専門科目 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)	口述試験 (13:00～)
芸術学	専門科目 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)	専門科目 (13:00～14:00) 口述試験 (15:00～)
複合文化	専門科目 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)	小論文 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)

(2) 試験場

群馬県立女子大学（群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1）

(3) 受験上の注意事項

- ・試験当日は、受験票を必ず持参してください。なお、受験票を持参しない場合には、受験を許可しないことがあります。
- ・専門科目試験において試験開始から30分を超える遅刻をした者、口述試験及び面接試験の受付時間内に受付をしなかった者については、受験を認めません。なお、遅刻等の理由が試験当日の公共交通機関の事故又は災害による場合は、試験時間の繰り下げ等の特別措置を行うことがありますので、速やかに本学事務局までご連絡ください。
- ・試験当日の疾病・負傷によって受験できなかったことによる特別措置は行いません。また、試験時間中の発病等によって一時休養した者についても、試験時間の延長は認めません。

6 合格発表

【第Ⅰ期】2026年10月8日(木) 午前10時 【第Ⅱ期】2027年2月4日(木) 午前10時

(注) 本学ウェブサイト上に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

7 入学手続

(1) 入学手続期間

【第Ⅰ期】2026年10月9日(金)から10月19日(月)

【第Ⅱ期】2027年2月5日(金)から2月15日(月)

(2) 合格者には合格通知書とともに、入学手続に必要な書類を郵送します。

(3) 所定の期日までに入学手続をとらない場合は、入学辞退者として扱います。

8 入学料・授業料等

(1) 入学料

2026 年度の額は次のとおりですが、2027 年度分については変更されることもありますので、本学事務局入試広報係まで照会してください。

種別	県内者及び本学の卒業生	県外者	備 考
金額	141,000 円	282,000 円	入学手続き時に納入

(注) 県内者とは、下記の時点で本人、配偶者又は一親等の親族（父母又は子）のいずれかが引き続き 1 年以上群馬県内に住所を有している者とします。

【第Ⅰ期】2026 年 10 月 1 日現在

【第Ⅱ期】2027 年 2 月 1 日現在

※入学手續においては、入学料のほか、所定の保険料等の納入が必要となります。

(2) 授業料

2026 年度の額は次のとおりですが、2027 年度分については変更されることもありますので、本学事務局入試広報係まで照会してください。

授業料 535,800 円（年額） 2 期分納（前期分 267,900 円、後期分 267,900 円）

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 納入時期は、前期分は 4 月（入学初年度のみ 6 月予定）、後期分は 10 月の予定です。

9 その他

(1) 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

(2) 一度受理した出願書類及び入学試験料は、返還しません。ただし、次のいずれかに該当する場合は入学試験料を返還しますので、本学入試広報係までお問い合わせください

- ・ 出願書類に不備等があり、受理されなかった場合
- ・ 重複して振り込むなど、所定の金額より多く振り込んだ場合
- ・ 入学試験料を振込後、本学に出願しなかった場合

(3) 受験票は郵送しますが、下記の期日までに到達しない場合は、必ず本学事務局入試広報係まで連絡してください。

【第Ⅰ期】2026 年 9 月 18 日（金）

【第Ⅱ期】2027 年 1 月 18 日（月）

(4) 過去の試験問題の閲覧・複写ができます。詳しくは本学事務局入試広報係にお問い合わせください。

10 学生募集に関する問い合わせ先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

群馬県立女子大学 事務局 入試広報係

電話 0270-65-8511

なお、さらに本学についての情報を得たい方は、本学ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.gpwu.ac.jp/>

社会人特別選抜募集要項

1 募集人員

専攻名	募集人員 (第Ⅰ期、第Ⅱ期合計)
日本文学専攻	若干名 (男女)
英米文化専攻	若干名 (男女)
芸術学専攻	若干名 (男女)
複合文化専攻	若干名 (男女)

2 趣旨

本研究科は、生涯学習や社会人の再学習に対する社会的要請に応え、豊かな社会的経験と教養を活かしながら、専門的な研究をさらに深め、新しい学問的成果に触れる機会を求める意欲的な社会人に対して、広く門戸を開いています。本研究科の領域に関心のある社会的経験を有する方々の積極的な応募を期待しています。修了に必要な単位については、昼間の授業によって修得することを原則としますが、特に教育上必要な場合には、夜間その他特定の時間又は時期に授業及び研究指導を行うことがあります。

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、入学時までには2年以上の社会人経験を有している者とします。

- (1) 大学を卒業した者又は2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2027年3月までに授与される見込みの者（大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者又は授与される見込みの者）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
- (9) 2027年3月までに、大学に3年以上在学し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 2027年3月までに、外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (11) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業者や外国大学日本分校その他の教育施設等の修了者など）

(注) 出願資格(9)、(10)又は(11)により出願しようとする場合は、本学大学院において出願資格の認定を行います。下記の期日が資格審査申請締切日となっていますので、本学事務局入試広報係に早めに申し出てください。

【第Ⅰ期】 7月31日(金)

【第Ⅱ期】 11月27日(金)

4 出願期間

【第Ⅰ期】2026年9月1日(火)から9月7日(月) (必着)

【第Ⅱ期】2027年1月4日(月)から1月12日(火) (必着)

5 出願手続

(1) 入学試験料 30,000 円

所定の振込用紙にて振り込んでください。

(2) 出願方法

出願は、以下の(3)の出願書類等を整え、持参又は郵送することにより行ってください。

郵送で出願する場合は、書留速達郵便で送付してください。

(3) 出願書類等

書類等の名称	備 考
①入学願書	所定の用紙
②受験票・写真票等	所定の用紙 (写真は出願前3か月以内に撮影したもので、無帽上半身、正面向き。裏面に氏名を記入すること。) (入学試験料(30,000円)に係る振込用紙の一番右側の「払込受付証明書(大学提出用)」を、所定の欄に貼付すること。)
③成績証明書	出身大学が日本語又は英語により発行した原本(コピーは不可) ※追加で資料を求めることがあります。 【中華人民共和国の高等教育機関を卒業した場合】 中国高等教育学生信息网(CHSI: China Higher Education Student Information)又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「成績認証報告書」の英語版を提出すること。
④卒業(見込)証明書等	出願資格にかかわるもの (出身大学等の卒業(見込)又は修了(見込)証明書原本(コピーは不可)) 注1: 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者については学位授与証明書、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書(ともに大学改革支援・学位授与機構が発行したもの)を提出すること。 注2: 出願資格(6)による出願者は、学位授与証明書や学位記など、授与された学位を証明する書類を提出すること。 【中華人民共和国の高等教育機関を卒業した場合】 中国高等教育学生信息网(CHSI: China Higher Education Student Information)又は中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「高等教育学歴認証」の英語版を提出すること。
⑤卒業論文等	
日本文学専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学(漢文学を含む)・日本語学・日本語教育学に関する卒業論文の写し1部又は小論文(4,000字程度)の写し1部
英米文化専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 英語学・英米文学・英米文化に関する卒業論文、又はそれに代わる論文(日本語の場合4,000字以上、英語の場合1,500語以上)の写し1部
芸術学専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 美学あるいは美術史、アートマネジメントに関する卒業論文の写し又はそれに代わる小論文(4,000字程度)の写し1部、もしくは卒業制作又はそれに相当する作品、ないしはその全体像がわかる写真及びポートフォリオ1冊

複合文化専攻	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 卒業論文等又は専攻したい分野に関する小論文（4,000字程度）の写し 1部
⑥研究計画書	所定の用紙
⑦受験票等送付用封筒	市販の封筒（長形3号規格120mm×235mm）に、住所及び氏名を明記し、定形郵便物（50g以内）の速達料を含めた最低料金（410円分）の切手を貼付してください。
⑧宛名票	所定の用紙
⑨履歴証明書、在職証明書等（日本文学専攻・英米文化専攻の志願者で専門科目試験免除に該当する者のみ）	勤務先の学校が発行したもので、担当教科が明記されているもの。

(4) 出願書類等の提出先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1
群馬県立女子大学 事務局 入試広報係

6 選抜方法

(1) 試験科目等

入学者の選抜は、試験、論文及び研究計画書等を総合して判定します。

ア 試験科目

専攻名	専門科目	口述試験
日本文学	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学あるいは日本語に関する小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学・日本語学・漢文学・日本語教育学に関すること、論文及び研究計画書等について
英米文化	【第Ⅰ期】 英語	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文及び研究計画書等に関する質疑応答
芸術学	【第Ⅰ期】 美学（英語を含む）、日本美術史（古文・漢文を含む）、西洋美術史（英語を含む）、アートマネジメント（企画立案）、美術実技（鉛筆デッサン）のうち、選択希望の領域に関するもの ※美学、美術史、アートマネジメントは小論文も含む ※美学、西洋美術史の英語は辞書（紙媒体のみ）持ち込み可 【第Ⅱ期】 小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文、作品及び研究計画書等について
複合文化	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 専攻したい分野に関する小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 論文及び研究計画書等について

※ 日本文学専攻の志願者のうち、学校教育法で定められた学校で国語を教えた経験を有する者は、専門科目試験を免除する。

※ 英米文化専攻の志願者のうち、学校教育法で定められた学校で英語を教えた経験を有する者は、専門科目試験を免除する。

イ 試験日時

専攻名	【第Ⅰ期】2026年9月28日(月)	【第Ⅱ期】2027年1月25日(月)
-----	--------------------	--------------------

日本文学	小論文 (10:00~12:00) 口述試験 (13:00~)	小論文 (10:00~12:00) 口述試験 (13:00~)
英米文化	専門科目 (10:00~12:00) 口述試験 (13:00~)	口述試験 (13:00~)
芸術学	専門科目 (10:00~12:00) 口述試験 (13:00~)	専門科目 (13:00~14:00) 口述試験 (15:00~)
複合文化	小論文 (10:00~12:00) 口述試験 (13:00~)	小論文 (10:00~12:00) 口述試験 (13:00~)

(2) 試験場

群馬県立女子大学（群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1）

(3) 受験上の注意事項

- ・試験当日は、受験票を必ず持参してください。なお、受験票を持参しない場合には、受験を許可しないことがあります。
- ・専門科目試験において試験開始から 30 分を超える遅刻をした者、口述試験及び面接試験の受付時間内に受付をしなかった者については、受験を認めません。なお、遅刻等の理由が試験当日の公共交通機関の事故又は災害による場合は、試験時間の繰り下げ等の特別措置を行うことがありますので、速やかに本学事務局までご連絡ください。
- ・試験当日の疾病・負傷によって受験できなかったことによる特別措置は行いません。また、試験時間中の発病等によって一時休養した者についても、試験時間の延長は認めません。

7 合格発表

【第Ⅰ期】2026 年 10 月 8 日(木) 午前 10 時 【第Ⅱ期】2027 年 2 月 4 日(木) 午前 10 時

(注) 本学ウェブサイト上に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

【第Ⅰ期】2026 年 10 月 9 日(金)から 10 月 19 日(月)

【第Ⅱ期】2027 年 2 月 5 日(金)から 2 月 15 日(月)

(2) 合格者には合格通知書とともに、入学手続に必要な書類を郵送します。

(3) 所定の期日までに入学手続をとらない場合は、入学辞退者として扱います。

9 入学料・授業料等

(1) 入学料

2026 年度の額は次のとおりですが、2027 年度分については変更されることもありますので、本学事務局入試広報係まで照会してください。

種別	県内者及び本学の卒業生	県外者	備 考
金額	141,000 円	282,000 円	入学手続時に納入

(注) 県内者とは、下記の時点で本人、配偶者又は一親等の親族（父母又は子）のいずれかが引き続き 1 年以上群馬県内に住所を有している者としてします。

【第Ⅰ期】2026 年 10 月 1 日現在 【第Ⅱ期】2027 年 2 月 1 日現在

※入学手続においては、入学料のほか、所定の保険料等の納入が必要となります。

(2) 授業料

2026 年度の額は次のとおりですが、2027 年度分については変更されることもありますので、本学事務局入試広報係まで照会してください。

授業料 535,800 円（年額） 2 期分納（前期分 267,900 円、後期分 267,900 円）

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 納入時期は、前期分は 4 月(入学初年度のみ 6 月予定)、後期分は 10 月の予定です。

10 その他

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- (2) 一度受理した出願書類及び入学試験料は、返還しません。ただし、次のいずれかに該当する場合は入学試験料を返還しますので、本学入試広報係までお問い合わせください
- ・出願書類に不備等があり、受理されなかった場合
 - ・重複して振り込むなど、所定の金額より多く振り込んだ場合
 - ・入学試験料を振込後、本学に出願しなかった場合
- (3) 受験票は郵送しますが、下記の期日までに到達しない場合は、必ず本学事務局入試広報係まで連絡してください。
- 【第Ⅰ期】2026年9月18日(金) 【第Ⅱ期】2027年1月18日(月)
- (4) 過去の試験問題の閲覧・複写ができます。詳しくは本学事務局入試広報係にお問い合わせください。

11 学生募集に関する問い合わせ先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1
群馬県立女子大学 事務局 入試広報係
電話 0270-65-8511

なお、さらに本学についての情報を得たい方は、本学ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.gpwu.ac.jp/>

シニア特別選抜学生募集要項

1 募集人員

専攻名	募集人員 (第Ⅰ期、第Ⅱ期合計)
日本文学専攻	若干名 (男女)
英米文化専攻	若干名 (男女)
芸術学専攻	若干名 (男女)
複合文化専攻	若干名 (男女)

2 趣旨

本研究科は、生涯学習や社会人の再学習に対する社会的要請に応えるため、社会人特別選抜とは別に、55 歳以上の世代に対して特別に門戸を開いています。豊かな社会的経験を活かしながら、専門的な研究に取り組むことができるように弾力的な修学プログラムを用意しています。本研究科の領域に関心のある 55 歳以上の方々の積極的な応募を期待しています。

3 出願資格

2027 年 4 月 1 日現在、満 55 歳以上で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者又は 2027 年 3 月までに卒業見込みの者
 - (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は 2027 年 3 月までに授与される見込みの者（大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者又は授与される見込みの者）
 - (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
 - (8) 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
 - (9) 2027 年 3 月までに、大学に 3 年以上在学し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (10) 2027 年 3 月までに、外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
 - (11) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業生や外国大学日本分校その他の教育施設等の修了者など）
- (注) 出願資格(9)、(10)又は(11)により出願しようとする場合は、本学大学院において出願資格の認定を行います。下記の期日が資格審査申請締切日となっていますので、本学事務局入試広報係に早めに申し出てください。

【第Ⅰ期】 7 月 31 日(金)

【第Ⅱ期】 11 月 27 日(金)

4 出願期間

【第Ⅰ期】 2026 年 9 月 1 日(火)から 9 月 7 日(月) (必着)

【第Ⅱ期】2027年 1月 4日(月)から 1月 12日(火) (必着)

5 出願手続

- (1) 入学試験料 30,000 円

所定の振込用紙にて振り込んでください。

- (2) 出願方法

出願は、以下の(3)の出願書類等を整え、持参又は郵送することにより行ってください。

郵送で出願する場合は、書留速達郵便で送付してください。

- (3) 出願書類等

書類等の名称	備 考
①入学願書	所定の用紙
②受験票・写真票等	所定の用紙 (写真は出願前3か月以内に撮影したもので、無帽上半身、正面向き。 裏面に氏名を記入すること。) (入学試験料(30,000円)に係る振込用紙の一番右側の「払込受付証明書(大学提出用)」を、所定の欄に貼付すること。)
③住民票の写し (マイナンバー記載なし)	
④卒業(見込)証明書等	出願資格にかかわるもの (出身大学等の卒業(見込)又は修了(見込)証明書原本(コピーは不可)) 注1: 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者については学位授与証明書、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書(ともに大学改革支援・学位授与機構で発行したもの)を提出すること。 注2: 出願資格(6)による出願者は、学位授与証明書や学位記など、授与された学位を証明する書類を提出すること。
⑤志望理由書	職歴又はその他の社会的経験を踏まえて志望理由を 2,000字程度で記述したもの(様式は問わない)
⑥研究計画書	所定の用紙
⑦受験票等送付用封筒	市販の封筒(長形3号規格120mm×235mm)に、住所及び氏名を明記し、定形郵便物(50g以内)の速達料を含めた最低料金(410円分)の切手を貼付してください。
⑧宛名票	所定の用紙
⑨履歴証明書、在職証明書等(日本文学専攻の志願者で専門科目試験免除に該当する者のみ)	勤務先の学校が発行したもので、担当教科が明記されているもの。

- (4) 出願書類等の提出先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

群馬県立女子大学 事務局 入試広報係

6 選抜方法

- (1) 試験科目等

入学者の選抜は、試験及び研究計画書等を総合して判定します。

ア 試験科目

専攻名	専門科目	口述試験
日本文学	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学あるいは日本語に関する小論	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 日本文学・日本語学・漢文学・日本語

	文	教育学に関すること及び研究計画書等について
英米文化	—————	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 志望理由書、研究計画書等及び英語学・英米文学・英米文化に関する質疑応答
芸術学	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 芸術に関する小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 志望理由書及び研究計画書等について
複合文化	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 専攻したい分野に関する小論文	【第Ⅰ期】【第Ⅱ期】共通 志望理由書及び研究計画書等について

※ 日本文学専攻の志願者のうち、学校教育法で定められた学校で国語を教えた経験を有する者は、専門科目試験を免除する。

イ 試験日時

専攻名	【第Ⅰ期】2026年9月28日(月)	【第Ⅱ期】2027年1月25日(月)
日本文学	小論文 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)	小論文 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)
英米文化	口述試験 (13:00～)	口述試験 (13:00～)
芸術学	小論文 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～ 予定※) ※変更になる場合があります。	小論文 (13:00～14:00) 口述試験 (15:00～ 予定※) ※変更になる場合があります。
複合文化	小論文 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)	小論文 (10:00～12:00) 口述試験 (13:00～)

(2) 試験場

群馬県立女子大学（群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1）

(3) 受験上の注意事項

- ・試験当日は、受験票を必ず持参してください。なお、受験票を持参しない場合には、受験を許可しないことがあります。
- ・専門科目試験において試験開始から30分を超える遅刻をした者、口述試験及び面接試験の受付時間内に受付をしなかった者については、受験を認めません。なお、遅刻等の理由が試験当日の公共交通機関の事故又は災害による場合は、試験時間の繰り下げ等の特別措置を行うことがありますので、速やかに本学事務局までご連絡ください。
- ・試験当日の疾病・負傷によって受験できなかったことによる特別措置は行いません。また、試験時間中の発病等によって一時休養した者についても、試験時間の延長は認めません。

7 合格発表

【第Ⅰ期】2026年10月8日(木) 午前10時 【第Ⅱ期】2027年2月4日(木) 午前10時

(注) 本学ウェブサイト上に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

【第Ⅰ期】2026年10月9日(金)から10月19日(月)

【第Ⅱ期】2027年2月5日(金)から2月15日(月)

(2) 合格者には合格通知書とともに、入学手続に必要な書類を郵送します。

(3) 所定の期日までに入学手続をとらない場合は、入学辞退者として扱います。

9 入学料・授業料等

(1) 入学料

2026年度の額は次のとおりですが、2027年度分については変更されることもありますので、本学事

事務局入試広報係まで照会してください。

種別	県内者及び本学の卒業生	県外者	備 考
金額	141,000 円	282,000 円	入学手続き時に納入

(注) 県内者とは、下記の時点で本人、配偶者又は一親等の親族（父母又は子）のいずれかが引き続き 1 年以上群馬県内に住所を有している者としします。

【第Ⅰ期】2026 年 10 月 1 日現在 【第Ⅱ期】2027 年 2 月 1 日現在

※入学手続きにおいては、入学料のほか、所定の保険料等の納入が必要となります。

(2) 授業料

2026 年度の額は次のとおりですが、2027 年度分については変更されることもありますので、本学事務局入試広報係まで照会してください。

授業料 535,800 円（年額） 2 期分納（前期分 267,900 円、後期分 267,900 円）

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 納入時期は、前期分は 4 月（入学初年度のみ 6 月予定）、後期分は 10 月の予定です。

10 その他

(1) 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

(2) 一度受理した出願書類及び入学試験料は、返還しません。ただし、次のいずれかに該当する場合は入学試験料を返還しますので、本学入試広報係までお問い合わせください

- ・ 出願書類に不備等があり、受理されなかった場合
- ・ 重複して振り込むなど、所定の金額より多く振り込んだ場合
- ・ 入学試験料を振込後、本学に出願しなかった場合

(3) 受験票は郵送しますが、下記の期日までに到達しない場合は、必ず本学事務局入試広報係まで連絡してください。

【第Ⅰ期】2026 年 9 月 18 日（金） 【第Ⅱ期】2027 年 1 月 18 日（月）

(4) 過去の試験問題の閲覧・複写ができます。詳しくは本学事務局入試広報係にお問い合わせください。

11 学生募集に関する問い合わせ先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

群馬県立女子大学 事務局 入試広報係

電話 0270-65-8511

なお、さらに本学についての情報を得たい方は、本学ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.gpwu.ac.jp/>

群馬県立女子大学大学院文学研究科の案内

□目的

文学研究科修士課程は、日本文学、英米文化、芸術学、複合文化の4専攻からなる男女共学の大学院です。

本研究科の目的は、伝統的な学問研究の基本的な枠組みを維持して専門分野の研究に必要な素養を身に付けた人材の育成を図るとともに、高度の学業及び研究を積んだ研究者並びに高度の専門性に裏付けられ、様々な職域及び地域の発展に寄与し得る人材を育成することにあります。

高度に情報化した現代社会においては、高等教育の場である大学院に求められる社会的な要請も多様化してきました。こうした要請に文学研究科として対応するため、専門分野の研究に必要な能力を着実に養うだけではなく、新時代のニーズにも応じた高度の専門性を要する職業に適応する能力や教養などを培うことにも積極的な役割を果たしていこうとしています。

□概要

本研究科の教育と研究は、2年以上在学し、授業科目の単位を各専攻の規定に基づいて30単位以上修得し、さらに、個別の研究指導の下に修士論文、修了制作又は課題研究の作成をすることによって行われます。

本研究科では、学生が既存の学問の枠組みにこだわることなく斬新な視点と清新な発想とによって知見を拡大し、新しい学際的な課題に意欲的にチャレンジすることも期待しています。そのため、同じ文学研究科内の他専攻の授業科目を積極的に活用できるように配慮するとともに、他大学院との単位互換や共同研究、学生交流なども進めており、教育・研究における協力関係の構築や国際的な発展も視野に入れるように努めています。殊に、本学(人文科学系)、高崎経済大学(社会科学系)、前橋工科大学(工学系)の三公立大学が教育・研究などで相互協力を進め、国際水準の大学を目指して連携し、三大学の大学院間での単位互換制度が実施されています。本研究科の枠を越えて視野を広げ、新しい展望を拓くために、こうした制度を活用することができます。

教員資格に関しては、既に学部で一種教員免許状の授与資格を得た学生が対応する専攻で修士の学位を得た場合には、専修免許状(国語、英語又は美術)を取得することができます。現職教員の方が専門教科に関する再研修や教育の実践活動を通じて培われた問題意識の整理・分析を行う機会を確保するために、「大学院修学休業制度」を利用して在職のまま専修免許状の取得を目指される場合には、教育方法の特例などを設けて便宜を図っています。また、職業を有する方などは、「長期履修学生制度」を利用して、職業と学業とを両立させつつ最長6年間の履修が可能です。

また、本研究科では、教育と研究とを通して、在学生の意欲的な研修や修了生の研究成果の公表を支援するために、紀要『大学院諸究』を発行しています。

本研究科の修了者は、研究能力をさらに確実なものとするために博士課程に進学したり、高度な専門性を身に付けてそれぞれの職域や地域での発展に寄与する道を選んだり、より高度な実践力や清新な発想を活かして教育界で活躍したりしています。

この「文学研究科の案内」は、2026年度の授業科目と担当教員を記載しています。ただし、2026年度末までに退任する専任教員については記載せず、その担当科目については、「未定」と記載するか削除してあります。

日本文学専攻の特色と研究指導・授業科目

1 本専攻の特色

本専攻は、上代・中古・中世・近世・近現代の日本文学に、日本語学、漢文学及び日本語教育学を加えて、文学・語学を総合的・歴史的に学ぶと同時に、個別のテーマによって研究を行い、研究者や高等学校教員・日本語教員等として活躍できるような、高度で幅広い学識・教養を身に付けることを目標としています。

本専攻は、各時代・各分野を専攻する教員で組織され、次のような研究が活発に行われています。

日本文学関係では、上代・中古・中世・近世・近代・現代の各時代の文学を専門とする教員が揃っており、神話・物語・和歌・俳諧・小説・詩歌・評論など多くのジャンルにわたる作品や作家の研究が行われ、さらに日本文学との関わりを視点とする漢文学の研究も行われています。

また、日本語学では理論や方言の研究、そして外国人に対する日本語教育の研究が行われています。

授業科目は、以上の諸研究を有機的に関連、発展させるかたちで、「研究法」「研究」「演習」「特講」などの科目が展開されています。

修士論文は、志望する研究分野に対応できる複数の指導教員のもとで、一年次からテーマの決定・文献調査の方法などについて詳細かつ具体的な指導を受けて完成させ、課題研究も、同様の指導体制のもとで、与えられたテーマに対する報告書を完成させていきます。

なお、院生の研究成果の発表の場として論文集が公刊され、また、本学国語国文学会の研究発表大会や研究誌があり、積極的かつ有効に利用されています。

受験生へのメッセージ

本専攻で学びたい学生には、次のことを希望します。

現代の国際化社会の中で日本人が立脚している足元に強い関心を持ち、その意味をより深く探求することを望むこと、具体的には、日本文学・日本語学・漢文学・日本語教育学のいずれかの分野について基礎的な知識を持ち、さらにそれを深めようとする意欲を持っていること。

そして各々の課題を追求しながら、その成果を広く学会に披露し、またそこで培われた力を、学校教育、社会人教育、外国人への日本語教育など、社会のさまざまな場に還元することを意識して、研究に励むことを期待します。

2 指導教員及び授業科目

□ 指導教員

富岡 宏太
新井 小枝子
鈴木 崇大
佐藤 洋美
板野 みずえ
二村 博
市川 祥子
権田 和士
井上 一之
國澤 里美

□ 授業科目

日本語日本文学研究法	専門的な研究法の概要の理解と基礎的な修得をめざす	(権田、佐藤、國澤)
日本語学研究 1	日本語文法の史的研究の方法を身につける	(富岡)
日本語学研究 2	日本語における語彙の体系記述や歴史的研究をおこなう	(新井)
日本語学演習 1	日本語史研究のうち、共時的な問題点を自ら見つけ出し解決する方法を身につける	(富岡)
日本語学演習 2	解釈文法について理解し、文法を作品の理解に応用する方法を身につける	(富岡)
日本語学演習 3	日本語方言の研究方法を身につけ、具体的に分析を行う	(新井)
日本語学演習 4	日本語のあらゆる辞書の特徴を理解し、言語の共時態や通時態をとらえる力を養う	(新井)
上代文学研究	上代文学研究における著名な論文を精読する	(鈴木(崇))
中古文学研究	『源氏物語』の読解を通して、中古文学を研究する力を養う	(佐藤)
中世文学研究	中世和歌の読解を通して、中世文学の問題点を分析する力を養う	(板野)
近世文学研究	近世俳人の書簡の解読を通じて近世俳諧文学研究の方法を養う	(二村)
近代文学研究 1	明治30、40年代の小説・戯曲・評論を取り上げて分析する	(市川(祥))
近代文学研究 2	〈今年度休講〉	
現代文学研究	現代文学研究の歴史を概観し、研究方法に対する批判的視点を養う	(権田)
漢文学研究	『靖節先生集』を旧注に従って読む	(井上)
日本語教育学研究	現代日本語について主に記述文法の立場から考察し、日本語教師に必要な日本語を客観的に分析する力を養う	(國澤)
上代文学演習 1	飛鳥時代の倭歌を分析する	(鈴木(崇))
上代文学演習 2	奈良時代の倭歌を分析する	(鈴木(崇))
中古文学演習 1	『源氏物語』の読解を通して、注釈・分析の方法を身につける	(佐藤)
中古文学演習 2	『源氏物語』の読解を通して、中古文学研究の方法を身につける	(佐藤)
中世文学演習 1	『新古今集』を題材に、和歌の注釈・分析方法を身につける	(板野)
中世文学演習 2	中世の歌合を題材に、和歌の注釈・分析方法を身につける	(板野)
近世文学演習 1	影印本『おらが春』の読解を通じて近世俳諧研究の方法を養う	(二村)
近世文学演習 2	伊勢崎俳人似鳩著『栗庵日記』の読解を通じて地方俳諧の研究方法を養う	(二村)
近代文学演習 1	明治～大正期の短編小説を、発表年順に毎回一作ずつ取り上げて分析する	(市川(祥))
近代文学演習 2	明治30、40年代の小説・戯曲を取り上げて分析する	(市川(祥))
近代文学演習 3	〈今年度休講〉	
近代文学演習 4	〈今年度休講〉	
現代文学演習 1	現代の短編小説を対象に注釈などの基礎的な作業や本文の分析を行う	(権田)
現代文学演習 2	現代の長編小説を対象に注釈などの基礎的な作業や本文の分析を行う	(権田)
漢文学演習 1	唐代伝奇と日本近代文学	(井上)
漢文学演習 2	『靖節先生集』を旧注に従って読む	(井上)
日本語教育学演習 1	レベル別に教科書分析を行い、教案・教材を作成する	(國澤)
日本語教育学演習 2	理論的背景を踏まえ、技能別に教室活動を考える	(國澤)
日本語日本文学特講 1	日本文学の研究方法を多面的に身につける	(畠山大二郎講師(非常勤))
日本語日本文学特講 2	〈今年度休講〉	
日本語日本文学特講 3	〈今年度休講〉	
基礎研究	研究分野における基礎的知識を涵養し、研究方法を会得する	(専任教員)
個別研究指導	各自の研究課題をより明確化し、その研究のための方法論を身につける	(専任教員)

3 専任教員の研究分野

准教授 富岡 宏太 [日本語学]

専門分野及び研究紹介

日本語の歴史、特に古代語の文法を研究しています。終助詞・間投助詞と呼ばれる助詞群の意味や用法の違いを明らかにすることや、文法研究の成果を作品の解釈に活かす方法の構築に、主な関心があります。

著書・論文等

「古代語の内省判断という陥穽—『源氏物語』紅葉賀巻における「命長くも」—」（『群馬県立女子大学国文学研究』46、群馬県立女子大学国語国文学会、2026年3月）、「ことばをくらべて考えるための「現代語訳」」（『文学・語学』239、全国大学国語国文学会、2023年12月）、「確認の終助詞の歴史的対照—現代語の「ね」と中古和文の「な」—」（野田尚史・小田勝編『日本語の歴史的対照文法』和泉書院、2021年6月）、「終助詞が必須となる時—中古和文と現代語の命令形—」（『国語研究』82、國學院大學国語研究会、2019年2月）、「中古和文の助詞カシ」（『日本語の研究』13-4、日本語学会、2017年10月）

教授 新井 小枝子 [日本語学]

専門分野及び研究紹介

地域の生活語である方言を中心に、日本語の研究をしています。語彙や意味の記述研究、対照研究に取り組み、地域の言語体系に、そして、日本語の言語体系にせまります。時と場をともなって発せられる音声言語を出発点とし、その背後にある地域の歴史や文化をよみとき、言語の本質を考えます。

著書・論文等

『語用論的方言学の始動』（ひつじ書房、2025年11月、共著）、『日本語変異論の現在』（ひつじ書房、2024年5月、共著）、『方言地理学の視界』（勉誠出版、2023年5月、共著）、『実践方言学講座第1巻 社会の活性化と方言』（くろしお出版、2020年12月、編著）、『シリーズ日本語の語彙8 方言の語彙—日本語を彩る地域語の世界—』（朝倉書店、2018年10月、共著）、『絹のことば』（上毛新聞社、2012年10月）、『養蚕語彙の文化言語学的研究』（ひつじ書房、2010年11月）、「郷土料理〈しもつかれ〉を表す語の形式と方言分布」（『方言の研究』10、日本方言研究会編、ひつじ書房、2024年7月）

准教授 鈴木 崇大 [上代文学]

専門分野および研究紹介

上代文学、特に『万葉集』を研究しています。今までは山部赤人という聖武朝の初期に活躍した歌人の作品について、時代状況と関わらせながら考察を重ねてきました。現在では、時代をさかのぼって飛鳥時代の作品にも関心を持っています。

著書・論文等

『山部赤人論』（和泉書院、2024）、「山部宿禰赤人が歌六首」（去来草の会編『論集 上代文学の明日を拓く』翰林書房 2024. 12）、「山部赤人の吉野讃歌第一歌群」（『国語と国文学』99-11 2022. 10）、「辛荷島作歌考」（『高岡市万葉歴史館紀要』31、2021. 3）、「王を詠む」（『美夫君志』100 2020. 3）

講師 佐藤 洋美 [中古文学]

専門分野および研究紹介

中古文学、とくに源氏物語について研究しています。中でも、女童や女官も含めた女房たちに注目しており、女房とその主人との関係性を明らかにすることに加えて、女房のふるまいが物語世界の構築にどのように寄与しているかを考察しています。今後は他の物語作品などにも範囲を広げ、女房という存在に着目することで見えてくる作品世界のありようを考えたいと思っています。

著書・論文等

『源氏物語女房論』（新典社、2025年）、「よるべなき中将の君—『源氏物語』「幻」巻における紫の上追慕をめぐって—」（『群馬県立女子大学国文学研究』44、2024年3月）、「渡殿の戸口の紫の上—「薄雲」巻における中将の君を介した歌をめぐって—」（『玉藻』56、2022年3月）、「犬君のゆくえ—『源氏物語』における女童をめぐって—」（『古代中世文学論考』35、新典社、2017年）

准教授 板野 みずえ [中世文学]

専門分野及び研究紹介

中世和歌について研究しています。『新古今和歌集』が主な研究対象ですが、「叙景」というテーマにも興味があり、京極派の和歌などに問題を押し広げて研究を進めているところです。先行研究で扱われてきた「景」と「心」という概念が一首の中でどのような関係にあるのか、最終的にはこの概念を乗り越えることも視野に入れて考えていきたいと思っています。

著書・論文等

『新古今時代の和歌表現』（花鳥社、2024年）、「新古今時代の和歌における「身」」（『国語と国文学』99-1、2022年1月）、「新古今時代における寂蓮——『八雲御抄』『京極中納言相語』の寂蓮詠批判をめぐる」（『和歌文学研究』119、2019年12月）、「新古今時代の和歌における「ながむ」」（『国語と国文学』96-3、2019年3月）、「「むすぼほる」考——新古今時代の用法を中心に——」（『国語と国文学』94-4、2017年4月）、「藤原良経の「風」表現」（『国語と国文学』92-2、2015年2月）

教授 二村 博 [近世文学]

専門分野及び研究紹介

小林一茶が活動した文化文政期の近世俳諧文学を中心に研究をしています。近世においては全国的に幅広く俳人間の交流があり、刊行物、書簡、短冊、石碑等の資料が数多く遺されています。資料の解読調査を通じて近世俳諧文化の実態を探究します。

著書・論文等

『近世会津俳人來翰集』（科研費成果、2026年 単著）、『俳句の事典』（朝倉書店、2024年、分担執筆）、『鴛鴦俳人恒丸と素月』（歴史春秋社、2012年、矢羽勝幸・二村博共編著）、「曾良の婚家」（「群馬県立女子大学紀要」第47号、2026年2月）「栗庵似鳩の俳諧活動-『萩のふすま』刊行をめぐる」、（「群馬県立女子大学国文学研究」第45号、2025年3月）、「大屋士由 - 文政・天保期の動向」（「群馬県立女子大学紀要」第46号、2025年2月）、「出羽の俳僧鹿苑舎淋山」（「群馬県立女子大学紀要」第45号、2024年2月）、「栗庵似鳩の俳諧活動-俳諧中興期における上毛来訪経緯」（「群馬県立女子大学国文学研究」第44号、2024年3月）

教授 市川 祥子 [近代文学]

専門分野及び研究紹介

日本の近代文学、特に泉鏡花を研究の対象としています。作品に引用された説話の機能や、戯曲の構造に関心があります。また、これまであまり研究されてこなかった、大正期に活躍した群馬県出身の作家についても基礎的な調査を進めています。

著書・論文等

「「山海評判記」における歌舞伎の引用をめぐる」（「群馬県立女子大学国文学研究」第46号、2026. 3）、「「白鷺」の上演をめぐる一昭和一四年（一九三九）上演と泉鏡花」（「群馬県立女子大学紀要」第47号、2026. 2）、「「山海評判記」論—新聞連載の側面から—」（「文学・語学」第245号、2025. 12）、「『稽古扇』と『恋女房』—遊廓のたたり年と泉鏡花—」（「群馬県立女子大学国文学研究」第45号、2025. 3）、「『稽古扇』の上演をめぐる一昭和九年（一九三四）上演と泉鏡花—」（「群馬県立女子大学紀要」第46号、2025. 2）、「『通夜物語』の上演をめぐる一喜多村緑郎の丁山—」（「群馬県立女子大学国文学研究」第44号、2024. 3）、「『天守物語』初演の実際—使用台本の検討から—」（「群馬県立女子大学紀要」第45号、2024. 2）、「里見弴」（『泉鏡花生誕一五〇年記念 鏡花の家』平凡社、2023. 10）、「『外科室』論—外科手術の実際から—」（「群馬県立女子大学国文学研究」第43号、2023. 3）、「『天守物語』初演と芸術祭」（「群馬県立女子大学紀要」第44号、2023. 2）、「『吉原新話』と『縁日商品』」（「群馬県立女子大学国文学研究」第42号、2022. 3）、「吉井勇脚色『高野聖』の上演をめぐる」（「群馬県立女子大学紀要」第43号、2022. 2）、「上毛新聞文芸関連記事調査【1】～【8】」（「群馬県立女子大学紀要」第26号～第33号、2005. 2～2012. 2）

教 授 権田 和士 [現代文学]

専門分野及び研究紹介

小林秀雄を中心に、昭和時代に活躍した文学者について研究しています。また近代の文学者たちの宗教への対応にも興味を持っています。文学者達が時代思潮や政治状況に対峙することで生み出した多様な表現の意味を考察していきたいと思っています。

著書・論文等

『言語と他者 小林秀雄試論』（青簡舎2013刊）、「小林秀雄の言語・芸術観——S・K・ランガーとの比較を通して——」（『国語と国文学』2021・12）、「小林秀雄の本棚から——太田善磨『古代日本文学思潮論』について——」（群馬県立女子大学国文学研究2017・3）

教 授 井上 一之 [中国文学]

専門分野及び研究紹介

『文選』・陶淵明を中心に、六朝時代の文学を研究しています。これまでは、詩語論と様式論の観点から、諸作品の研究に取り組んできました。現在の関心は、淵明の思想内容の究明にあり、中国中世の知識人たちに共通する思想的問題（判断基準）を整理したいと考えています。

著書・論文等

『続校注唐詩解釈辞典』（2001年、大修館書店、共著）、「賦と声律化—沈約「郊居賦」を中心に—」（1999年、早稲田大学文学部『中国詩文論叢』第18集）、「沈約的文学理論」（2001年、華東師範大学出版社『古代文学理論研究』第19期）、「『三言』という名の様式」（2001年、『中国詩文論叢』第20集）、「陶淵明『詠荊軻詩』について—報恩軽生の適否—」（2011年、研文社『新しい漢字漢文教育』第52号）

准教授 國澤 里美 [日本語教育学]

専門分野及び研究紹介

外国語として日本語を学ぶことについて考えています。コースデザインや自律学習など、日本語学習者の学びをどのように支援するかについて関心があります。また、現代日本語のモダリティ形式にも興味があり、世代差の観点から研究しています。

著書・論文等

「中級『漢字・語彙』クラスにおける自律学習の実践—日本語コースデザインの改善を通して—」（『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』28-2、2017年3月、共著）、「交換留学生を主体とした初級日本語クラスのコースデザイン」（『名古屋学院大学論集 言語・文化篇』27-2、2016年3月、共著）、「語用論の観点から見た認識のモダリティ形式『カモシレナイ』について」（『言葉と文化』14、2013年2月）、「『～ヨウトスル』の許容度に見られる世代差—一人称主語と三人称主語の比較—」（『日本文化學報』50、2011年8月）

英米文化専攻の特色と研究指導・授業科目

1 本専攻の特色

英米文化専攻は英語学、英米文学、英米文化の三分野から構成され、英語、英米の文学、文化を中心とする研究を通して学際的な教養を修得し、大学、高等学校、中学校教員をはじめ、さまざまな分野で活躍できる人材の育成を目標としています。

英語学の授業では、英語に関する研究、演習を行います。英語の意味と形式、語、文、談話、コミュニケーションという観点から、さらに必要に応じて日本語との比較をしながら、英語のしくみを考察します。また外国語としての英語を学ぶ・教えるという視点から、英語教育学を研究する授業もあります。英語学、英語教育学とともに、文献の精読とデータ分析を通して、問題を深く追究していきます。

文学の授業では、英米の詩、小説、演劇、批評に関する研究、演習を行っています。特定の国の特定の文化環境の中で生み出されてきた「文学」ということばの贈りものが、個人を越え、時代を超えて、世界の人々に送られつづけている事実を、少しでも親しく、こまやかに感受できることを目指します。

文化の授業では、具体的な作品や史実、思想、伝統、広義の制度や価値観といった文化的事象それ自体の研究はもとより、研究をするうえでの姿勢と方法も学びます。たとえば、歴史に対して真摯に向き合い、また隣接する他の事象にも積極的に目配りをするという態度を養い、一方で分析、考察のための視座や理論を身に付けます。

修士課程での最大の研究活動は修士論文の執筆といえます。本専攻では、大学院生がひとりの研究者としてそれぞれの関心事に沿った十分な研究が遂行できるよう、複数の教員による指導体制をとり、手厚い論文指導を行います。

なお、大学院生の研究成果の発表の場として、群馬県立女子大学英米文化学会の大会や研究誌があり、積極的に活用されています。さらに、学外での研究発表に対しては、本学会からの支援もあり、利用が期待されています。

受験生へのメッセージ

わたしたちの研究は、特定の視点を通してはじめて見えてくる世界を対象にしています。ですから、その世界に近づくためには、研究者が各々固有の問題意識を持っていなければなりません。個人個人の問題意識は英語研究、文学研究、文化研究のなかに独自の場所を見いだす出発点であると同時に、既存の研究に疑問を投げかけるよりどころとなるでしょう。大学院での研究活動は、このように、最初は個人的とも言える小さな関心を次々に連鎖させ、同じ問題を扱った先行研究を検討し、次第に大きく展開してゆく過程です。外国語の文献を読みこなす語学力、どこまでも対象を追ってゆく粘り強い資質、そして果敢な批判精神が必須です。熱い探究心を期待しています。

2 指導教員及び授業科目

□ 指導教員

小林 隆
浅井 良策
飯村 英樹
松崎 慎也
島田 協子
小林 徹
笠井 俊和
木下 耕介

□ 授業科目

英 語 学 研 究 3	語用論の基本的な考え方・理論を学ぶ	(小林(隆))
英 語 学 演 習 7	英語の文法と意味を研究する方法を学ぶ	(小林(隆))
英 語 学 演 習 8	英語の談話標識の種類と用法について学ぶ	(小林(隆))
英 語 学 研 究 4	英語教育研究の論点と手法を学ぶ	(飯村)
英 語 学 演 習 3	英語教育研究における基礎概念を理解する	(飯村)
英 語 学 演 習 4	英語教育研究の論点と手法を学ぶ	(飯村)
英 語 学 研 究 5	語彙意味論と認知意味論の基本的な考え方・理論を学ぶ	(浅井)
英 語 学 演 習 5	英語の文法構文の意味的および機能的特性について学ぶ	(浅井)
英 語 学 演 習 6	構文文法とフレーム意味論の分析手法について学ぶ	(浅井)
英 語 学 研 究 2	〈今年度休講〉	
英 米 文 学 研 究 1	英詩の鑑賞法を学ぶ	(松崎)
英 米 文 学 演 習 1	文学作品の精読、鑑賞結果の発表を行う	(松崎)
英 米 文 学 演 習 2	英詩の鑑賞法を学ぶ	(松崎)
英 米 文 学 研 究 2	英米文学作品の分析と批評の方法を学ぶ	(島田)
英 米 文 学 演 習 3	英米文学作品の読解と研究の方法を学ぶ	(島田)
英 米 文 学 演 習 4	歴史的文脈の中での英米文学研究の方法を学ぶ	(島田)
英 米 文 化 研 究 1	批評理論を読む	(小林(徹))
英 米 文 化 演 習 1	論文作成のための実質的な準備を行う	(小林(徹))
英 米 文 化 演 習 2	批評理論を読む	(小林(徹))
英 米 文 化 研 究 2	邦語文献を批判し、論理的思考を磨く	(笠井)
英 米 文 化 演 習 3	論文の作成に向けてアメリカ文化の諸相を学ぶ	(笠井)
英 米 文 化 演 習 4	英語文献を批判し、論理的思考を磨く	(笠井)
英 米 文 化 研 究 4	テクストを精読し、今日の映像文化を歴史的に考察する	(木下)
英 米 文 化 演 習 7	映像の形式及び内容についての分析の方法論を学ぶ	(木下)
英 米 文 化 演 習 8	今日の映像文化についての理論的視座を得る	(木下)
英 語 特 別 演 習 1	教員採用試験に備えて、語法・文法の知識を強化し、読解力、英作文の力を養う	(浅井)
英 語 特 別 演 習 2	教員採用試験に備えて、語彙・語法・文法の知識と読解力を高める	(小林(隆))
基 礎 研 究	研究分野における基礎的知識と研究方法を修得する	(専任教員)
個 別 研 究 指 導	個別に指導を受け、各自の研究課題に取り組む	(専任教員)

3 専任教員の研究分野

准教授 小林 隆 [英語学]

専門分野及び研究紹介

英語の会話表現、特に「一人称代名詞＋現在形動詞」の形をしたI mean, I think, I (don't) knowなどの表現が、「会話でどのように用いられているのか」「話し手はなぜそれを用いるのか」ということについて、語用論と認知言語学の理論を用いて分析・考察しています。

著書・論文等

「I don't knowの意味の広がり」を認知文法でとらえる：認知語用論的アプローチ（山梨正明編『認知言語学論考17』ひつじ書房、2023年）、*'I mean' as a marker of Intersubjective Adjustment: Cognitive Linguistic Approach*（ひつじ書房、2018年）、「I mean とI knowの使用の傾向と動機を探索：語用論からみた評言節」（米倉緯・中村芳久編『英語学が語るもの』くろしお出版、2018年）

准教授 浅井 良策 [英語学]

専門分野及び研究紹介

英語の複合表現や文法構文の意味解釈について認知言語学の観点から研究しています。主な研究対象として、He wrote himself out of a job. や He played his midfielders into trouble with a bad pass. で例示されるような結果構文と呼ばれる一種の使役表現を分析しています。その際、「このタイプの構文形式が表し得る全体的な意味や多義の意味解釈はどのような仕組みによって得られるのだろうか」という問いに対して、個々の構成要素間における意味的相互作用に着目するアプローチの妥当性を検証しています。

著書・論文等

「英語結果構文から見た「様態」と「結果」」（眞野美穂・江口清子・小葉哲哉・于一楽 編『レキシコン研究の広がり」と深まり』大阪大学出版会、2025年）、「結果句to sleepとawakeについて」（米倉よう子・山本修・浅井良策 編『ことばから心へ—認知の深淵—』開拓社、2020年）、*Resultative Constructions in English and Japanese*（大阪大学博士論文、2016年）

教授 飯村 英樹 [英語教育]

専門分野及び研究紹介

学習者の能力を正しくとらえるための英語テストの作成法と評価法に関する研究を続けています。また英語力を高める授業デザイン、指導法、活動、タスクについて理論的背景をもとに検討しています。

著書・論文等

『事例でわかる英語テストガイド』（小泉利恵・印南洋・深澤真（編著）大修館書店、2017年）、Examining the Practicality of Oral Reading Assessment: A Comparison of a Rubric and a Rubric-Based, Binary-Choice, Boundary-Definition (RBB) Scale. (Hideki IIMURA & Sachiyo TAKANAMI, 全国英語教育学会、*JASELE Journal*, 37, 2026年)、「再現を目的とする活動の比較：復唱、書き取り、暗唱、書写の難易度」（九州英語教育学会、『九州英語教育学会紀要』、第51号、2023年）。

教授 松崎 慎也 [イギリス文学]

専門分野及び研究紹介

イギリス・ロマン主義文学の研究をしています。これまで、キーツ、ブレイク、ワーズワースといった詩人を対象に研究し、論文を執筆しています。関心のある問題は、作品の中の、思考過程、視点、イメージ、アイロニー、文化的表象、それと作家の、自然観、世界観、宗教観、そして複合芸術のあり方などです。

著書・論文等

“Animism Has Always Mattered—Naturally among English Romantics” (D. Kerler and M. Middeke, eds., *Romantic Ecologies: Selected Papers from the Augsburg Conference of the German Society for English Romanticism*, WVT, 2023年)、「陽気な花—細見綾子とワーズワースのアニミズム詩歌」（『群馬県立女子大学 英米文化研究』第10号、2020年）、「キーツのギリシア」（長尾輝彦編著『文学研究は何のため—英米文学試論集』北海道大学出版会、2008年）

教授 島田 協子 [イギリス文学]

専門分野及び研究紹介

19世紀末から20世紀初頭にかけての、イギリスの詩と小説における言語表現のあり方に関心があります。

特に、通信手段の変化など作家を取り巻く文化的コンテキストと「語り」のメカニズムとの関連性に注目し、「言葉で何かを表現するとはどういうことなのか」を考えています。

著書・論文等

「E.M. フォースター『ハワーズ・エンド』における電信の諸相」（『群馬県立女子大学紀要』第44号、2023年）、「W.H. オーデン『夜行郵便』における詩作とテクノロジー」（『群馬県立女子大学紀要』第39号、2018年）、「イギリスで語るために—大衆文化と『伝統』」（高柳俊一他編『モダンにしてアンチモダン—T.S.エリオットの肖像』研究社、2010年）

教 授 小林 徹 [イギリス文化]

専門分野及び研究紹介

理論を仲立ちにして、作品と文化のあいだを縦横に往還することから浮かび上がってくる事柄について興味があります。なおここでいう理論とは、さらなる思考を促す多種多様な言説のことであり、作品とは、主にイギリスにおける文学作品、また映画を、それから文化とは、イギリスを中心とした広く西欧におけるそれを指しています。そしてこうした研究態度のもとにこれまで、イギリスロマン主義文学を主たる対象として、西欧における自己をめぐる諸問題について、また、たとえば小説の映画化といったメディア変換の時点で生ずる様々な力学のありようについて考察を行ってきました。

著書・論文等

“‘Spirits,’ ‘the Infant Babe,’ and ‘the Spots of Time’: The Mode of Autobiography in Wordsworth’s *The Two-Part Prelude* (1799)”（『I V Y』第29巻、1996年）、「機械が造るモンスター—『フランケンシュタイン』、映画、そして1930年代初頭—」（『I V Y』第36巻、2003年）、「Maria’s Narrative Goes Far: Mary Wollstonecraft’s *The Wrongs of Woman: or, Maria. A Fragment* and a Possible Usage of the Autobiographical Mode”（*Ivy Never Sere* 音羽書房鶴見書店、2009年）

准教授 笠井 俊和 [アメリカ文化]

専門分野及び研究紹介

17・18世紀のアメリカの社会史を研究しています。特に船乗りと貿易に関心があり、輸出入された商品に関する数量的な貿易研究ではなく、その貿易を担った船乗りの人間像や役割について考察してきました。情報網が発展途上だった当時において、貿易のために船で各地を移動する船乗りは、陸に住む民衆よりいち早く様々な情報を入手していたことから、情報伝達媒体としての船乗りの価値にも注目しています。

著書・論文等

『船乗りがつなぐ大西洋世界—英領植民地ボストンの船員と貿易の社会史』（晃洋書房、2017年）、「海と陸の循環—18世紀アメリカにおける船乗りのライフサイクル」（田中きく代ほか編『海のグローバル・サーキュレーション—海民がつなぐ近代世界』関西学院大学出版会、2023年）、「独立戦争期を綴った船乗り—迷える愛国派・厭戦の無党派」（佐久間みかよほか編『改革が作ったアメリカ—初期アメリカ研究の展開』小鳥遊書房、2023年）

教 授 木下 耕介 [映像文化]

専門分野及び研究紹介

アメリカ映画を主たる研究対象に、英語圏の映画理論を参照しながら、物語映画の語りの形式と技法、および観客によるそれらの理解について研究しています。現在の関心事は、PCやスマートフォンなど種々の視聴覚メディアが共存する現代のメディア環境において、物語映画の語りの形式と技法が、それらの影響を受けながら、またそれらを使いこなす人々の読解能力に期待しながら、いかに変化を続けてきたかを確認することです。

著書・論文等

「デイヴィッド・ボードウェル 詩学／科学を追求する」（堀潤之・木原圭翔編『映画論の冒険者たち』東京大学出版会、2023年）、「Multi-viewpoint Narrative: From *Rashomon* (1950) to *Confessions* (2010)”, Hideaki Fujiki, Philips Alastair, eds. *The Japanese Cinema Book*, British Film Institute, 2022、『混淆性の詩学に向けて —物語映画におけるSNS画面のリメディエーションを例に』（『演劇学論叢』第22号、大阪大学大学院人文学研究科演劇学研究室、2023年）、「『参加者』の理論構築に向けて —プロテウス効果の演劇・映画研究への応用可能性についての試論』（『演劇学論集』第70号、2020年）、「スクリーン上の仮想世界—『トロン』から『アバター』まで—」（『JunCture 超域的日本文化研究』03号、2012年）

芸術学専攻の特色と研究指導・授業科目

1 本専攻の特色

本専攻は、美学、美術史（日本・西洋）、アートマネジメント、実技の4つの領域から構成されています。芸術の体系的並びに歴史的研究を深めること、実践的研究や制作活動のレベルを上げることによって、芸術及び文化の本質を理解する人材の育成を目標としています。

美学では、人間の感性や表現を対象とする哲学としての美学に加え、美術・音楽・舞踊・映像などの芸術諸ジャンルに関わる芸術学的研究を行います。思想史や文化史などの歴史的文脈をも踏まえながら、美学と芸術学のさまざまな領域を研究します。

日本美術史では、主に中世から近代の絵画史を対象としますが、とりわけ室町時代後期から江戸時代を通じて活動した狩野派の絵師と作品について、作品と文献史料の両面から検討し、社会的観点も視野に入れながら研究します。

西洋美術史では、古典古代から近代までの美術を範囲とします。ギリシア・ローマ神話の図像表現、多様な作品の図像解釈、古代美術受容史、社会における美術の役割、美術コレクションの歴史などを研究します。

アートマネジメントでは、資料分析等の理論研究、美術館や地域の連携事業に関わる実践研究の双方を探究できます。同時に企画立案、実践、報告書作成などの一連の流れを体験し、アートの現場で即戦力となる力も養うことが出来ます。

実技では、絵画、デザインなどの制作を通じて、さまざまな表現の可能性を探究します。絵画では、作品発表を前提として平面作品（油彩画、アクリル画、水彩画、銅版画等）、ミクストメディア、インスタレーションなどの表現を研究します。またデザインでは、社会との連携授業を行います（商品開発、作品制作及び展示）。さらにデザインに必要なデッサン力を養うため、手描きやPCなどを用いて実践的に研究します。

受験生へのメッセージ

本専攻で学びたいと思う学生には次のようなことを希望します。芸術全般に広く興味を持つとともに、自分の専攻したいと思う分野に対して強い探究心を持っていることが大切です。また、以上に記したことを学んで行くに当たって、美学と美術史及びアートマネジメントに関して全般的な基礎知識を有することが望まれます。実技においては、独自の発想や豊かな感性に加え、素描力と色彩表現力が求められます。さらに、各分野での学問を専門的に追究し、その成果を社会に還元したいと願う学生を希望します。

2 指導教員及び授業科目

□ 指導教員

武藤 大祐
三宅 秀和
藤沢 桜子
奥西 麻由子
山崎 真一
高橋 綾

□ 授業科目

美学特殊研究 1	芸術化 (artification) の研究	(武藤)
美学特殊研究 2	〈今年度休講〉	
美学特殊研究 3	〈今年度休講〉	
美術史特殊研究 1	未定	
美術史特殊研究 2	狩野派および大名家の美術に関する研究	(三宅)
美術史特殊研究 3	19 世紀から 20 世紀前半の絵画、デザインの美術研究	(岡部昌幸講師 (非常勤))
美術史特殊研究 4	本学史研究としての本学美術作品等の調査・研究	(藤沢)
美術史特殊研究 5	ユーラシアの美術と図像学－東西美術の比較論	(北新一講師 (非常勤))
アートマネジメント 特殊研究 1	アートマネジメントに関する調査、報告書検討	(奥西)
美 学 演 習 1	〈今年度休講〉	
美 学 演 習 2	〈今年度休講〉	
美 学 演 習 3	身体論を読む	(武藤)
美 学 演 習 4	研究発表とディスカッション	(武藤)
美 術 史 演 習 1	未定	
美 術 史 演 習 2	未定	
美 術 史 演 習 3	絵画を中心とした日本美術史研究の方法論	(三宅)
美 術 史 演 習 4	日本絵画に関する作家・作品研究	(三宅)
美 術 史 演 習 5	西洋美術史研究の最新研究と総合研究	(岡部昌幸講師 (非常勤))
美 術 史 演 習 6	美術史等の研究方法及び発表の実践	(岡部昌幸講師 (非常勤))
美 術 史 演 習 7	西洋美術の作品分析	(藤沢)
美 術 史 演 習 8	ギリシア・ローマ美術における肖像の研究	(藤沢)
アートマネジメント 演習 1	美術館連携事業の計画及び実践	(奥西)
アートマネジメント 演習 2	企画実践のプロセスと実際	(奥西)
絵 画 実 技 1	油彩画やミクストメディアを主とした絵画表現の実践	(山崎(真))
絵 画 実 技 2	作品発表を軸にさまざまな表現方法による制作を試みる	(山崎(真))
絵 画 実 技 3	銅版画を主とした版表現の習得	(山崎(真))
デザイン実技 1	生活用品、健康雑貨等のデザイン及び、社会機関とのコラボレーションを行う	(高橋)
デザイン実技 2	実技教科に必要な基礎的なデッサン力、構成力の向上	(高橋)
デザイン実技 3	視覚又は、立体デザインに必要なデッサン力、構成力のさらなる向上	(高橋)
C G 特殊研究 4	「空間的」思考についてのコンピュータを用いた研究と制作	(下山肇講師 (非常勤))
個 別 研 究 指 導	個別に指導を受け、論文、制作等、各自の研究課題に取り組む	(専任教員)

3 専任教員の研究分野

教 授 武藤 大祐 [美学・舞踊学]

専門分野及び研究紹介

舞踊の研究をしています。舞台芸術のみならず民俗芸能あるいは映像表現の中の舞踊まで幅広く視野に入れています。現在の具体的な研究対象は、舞踊とジェンダー、日本を含む近現代アジアの舞踊史、振付の理論です。

著書・論文等

共編著『現代ストリップ入門』（書肆侃侃房、2025 年）、共著『バレエとダンスの歴史——欧米劇場舞踊史』（平凡社、2012 年）、論文「ストリップ劇場の論理と COVID-19——「本質的に不健全」な芸能の現場」（吉田ゆか子・増野亜子編『コロナ下での芸能実践——場とつながりのレジリエンス』、春風社、2025 年）、「限界集落の芸能を開く——「関係の場」としての朽木古屋六斎念仏踊り」（『群馬県立女子大学紀要』第 46 号、2025 年）、「デニシオン舞踊団のアジア巡演におけるヴァナキュラーな舞踊文化との接触——インドの「ノーチ」と日本の「芸者」をめぐる」（『舞踊學』第 43 号、2020 年）、「Choreography as Meshwork: The Production of Motion and the Vernacular” (T. F. DeFrantz and P. Rothfield (eds.), *Choreography and Corporeality: Relay in Motion*, Palgrave Macmillan, 2016) など。

准教授 三宅 秀和 [日本美術史]

専門分野及び研究紹介

狩野派を中心に、中・近世の日本絵画史を研究していますが、大名家の美術全般や、近代の日本画にも関心を持っています。作品の造形上の分析とともに、制作者の関心や注文主の意向、制作された時代の規範や慣習、伝世過程も文献史料に基づいて考えるようにしています。

著書・論文等

「永徳期・光信期狩野派の源氏絵への挑戦——皇居三の丸尚蔵館所蔵の源氏物語図屏風を中心に」（稲本万里子編著『源氏絵研究の最前線』勉誠社、2024 年）、「狩野光信の装飾料紙—国立国会図書館所蔵「賦何船連歌」を中心に」（『群馬県立女子大学研究紀要』45 号、2024 年）、「狩野光信様式の達成と永徳画との関わりについて」（佐野みどり先生古希記念論集刊行会編『造形のポエティカ』青簡舎、2021 年）、「豊臣秀吉の吉野の花見と吉野花見図屏風」（『聚美』11 号、2014 年）、「土佐光吉宛平家繪制作関連書状の再検討 —狩野光信研究の視点から」（『國華』1362 号、2009 年）

教 授 藤沢 桜子 [西洋美術史]

専門分野及び研究紹介

古代ギリシア・ローマ美術史。ギリシア・ローマ神話の美術表現。幕末明治期日伊文化交流。最近は、西洋では、古代の美術が社会でどのような役割を果たしていたのか、また神話美術がルネサンス時代など後世においてどのように受容されたのか、また日本では、古代ローマ文明が明治初期にどのように受けとめられていたのかについて関心を持っています。

著書・論文等

共著『イタリアの世界文化遺産を歩く』藤本強・青柳正規編（同成社、2013 年）（担当「ポンペイ、エルコラーノ及びトッレ・アヌンツィアータの遺跡地域」）、共著『西洋美術館』（小学館、1999 年）、論文「古代ローマ皇帝カラカラの肖像の受容に関する一考察—14 世紀及び 16 世紀におけるコイン風「肖像画付著名人伝」を中心に—」（『群馬県立女子大学紀要』46 号、2025 年）、「『米欧回覧実記』「羅馬府ノ記」と古代ローマ」（『イタリア学会誌』63 号 2013 年）、「『イカリオスの浮彫り』古代受容に関する一考察：ジュリオ・ロマーノによる応用」（『群馬県立女子大学紀要』34 号、2013 年）、「『米欧回覧実記』に描かれたポンペイ」（同 31 号、2010 年）、「ポンペイの壁画に見る主題の統一性」（『美術史』156 冊 2004 年）等

准教授 奥西 麻由子 [アートマネジメント]

専門分野及び研究紹介

アートマネジメント、美術教育。様々な人たちがアートに親しむためのきっかけを日々考え、実践しています。主にワークショップやアートプロジェクトの企画運営などを通して、現代社会において芸術・

文化がどうあるべきか、アートの役割や機能、存在のあり方を模索しています。

著書・論文等

単著：「コロナ禍の芸術祭と大学生の関わり～『中之条ビエンナーレ 2021』における『ステキ発信プロジェクト』の実践を通して」『環境芸術』32号、2024、「群馬県内の美術館連携事業における教育普及活動に関する報告—12年間（2013—2024）の変遷と今日の参加者の実態調査—」（『群馬県立女子大学紀要』46号、2025年）等、アートプロジェクト・ワークショップの企画・運営：「埼玉県こども動物自然公園アートフェスタ」（2013～現在）、「段ボールで美術館に街を作ろう！」（於 渋川市美術館、2024）、「行田市市政 75 周年記念花手水アートフェスタ」（於 行田市忍城址公園、2024）他多数

教 授 山崎 真一 [絵画]

専門分野及び研究紹介

絵画やインスタレーションなど幅広い創作活動をしています。商業施設の天井画や壁画、街や島での作品展示、病院におけるワークショップなど地域社会と直接かかわり、美術と社会のつながりを実践研究しています。

著書・論文等

「びょういんにおいでよ、わたしたちの！」（『美術教育研究会』No. 12 2006 年）、医療・ケア現場での実践活動（『GP net』2008 年 6 月号）など多数 パブリック：晴海トリトンスクエア「神話の広場」天井画、大崎ゲートシティ「アトリウム」壁画／天井画、HYATT REGENCY FUKUOKA など多数 個展・グループ展：桐生再演、越後妻有アートトリエンナーレ、奥能登国際芸術祭 2017、2020+、瀬戸内国際芸術祭 2013、UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川 2021～2024、SHIZUOKA ART VISION など多数

教 授 高橋 綾 [デザイン]

専門分野及び研究紹介

デザインを幅広く制作研究していますが、主に立体造形の「玩具」「あそび」をテーマに研究開発しています。さらに、研究発表（作品展示）やワークショップ、商品開発などの実践研究も行っています。

著書・論文等

共著「伊香保アートプロジェクト」（『アートプロジェクトエッジ』東方出版 2015 年）、共著「あかりアートプロジェクトの実践」（『環境芸術学会学会誌』2008 年）など。
受賞歴：環境芸術学会 2024 年度春季大会優秀プレゼンテーション賞（2024 年）、第 5 回神戸ビエンナーレ創作玩具国際コンペティション大賞（2015 年）、第 1 回スギ・ヒノキの創作玩具コンペティショングランプリ（2013 年）ほか多数。
個展：『高橋綾のあそぶデザイン展』ハヶ岳美術館（2016 年、2018 年）おかざき世界子ども美術博物館（2019 年）など多数。
企画展：『春の丘のルピナス祭り 2025』栃木県鹿沼市花木センター（2025 年）、『SAGAE まちなか芸術祭』山形県寒河江市（2024 年）、『つみき×パズル展』浜田市世界こども美術館（2023 年）

複合文化専攻の特色と研究指導・授業科目

1 本専攻の特色

複合文化専攻は、「文化」「社会」「情報メディア」を3つの柱として、混迷する現代を生きる上でわたしたちが必要とする「実践知」を獲得すべく構成されています。本専攻における大学院生は、社会、文化、メディア、情報などの各分野、あるいは複数の分野にまたがる複合的テーマについて、教員の指導のもとで有機的に履修することができます。その独自の研究を通して、諸分野統合的で高度な教養を涵養し、研究者や幅広い分野で活躍できる人材を育てることを目標としています。

具体的には、まず中核となる「基礎研究」によって基本的な研究方法を修得します。そのうえで社会の諸問題や文化的事象をさまざまな方法論を用いて分析する方法、さらには、メディアや情報の文化的および技術的な側面を考察する理論について学ぶことで、複雑化した現代社会における諸問題を複合的な視点で深く追求するスキルを身につけます。そして、これらの研究から得られた成果を積極的に外部世界に向かって表現・発信します。

上記の3つの柱はあくまでも概念・理念型であって、大学院生の学問的関心を束縛するものではなく、本専攻はむしろ大学院生自身の学問的関心を最大限に生かす研究ができるようにサポートします。

実際の授業科目としては、本専攻の特色を生かすための「研究」「演習」のほか、実際の文化の現場を経験することを主目的とする「複合文化研究法」を置いています。これは各分野の専門的研究を深めるために、研究室内での研究だけではなく、必要に応じて学外に飛び出して経験することで生きた知識を身につけることを目標としています。

修士課程での最大の課題は修士論文の執筆、またはそれに代わる課題研究の完成です。本専攻では、大学院生ひとりひとりの個性を生かし、独立した研究者として各自の問題関心に基づいた研究の仕上げを修士論文、あるいはリサーチレポートとして完成させることができるように、複数の教員によるしっかりとした指導体制を構築しています。

受験生へのメッセージ

本専攻で学びたい学生には次のようなことを求めます。まず、社会事象、文化事象、情報メディアの文化的または数理的な側面に関する具体的な関心を有していることです。その上で自分の課題や問題関心についてある程度の専門的知識を修得していることを望みます。そして各自の専門的知識を深めることで、その成果を世界に向かって発信し、世界に貢献したいという願望をもっている学生を求めます。

2 指導教員及び授業科目

□ 指導教員

黒田 覚
鈴木 親彦
細川 雄一郎
堀畑 佳宏
山崎 隆広

□ 授業科目

社 会 環 境 研 究	未定
社 会 環 境 演 習 1	未定
社 会 環 境 演 習 2	未定
文 化 と 資 料 研 究	Digital Humanities に関して、文献講読を中心に世界的な研究動向を学び、自身の人文学研究に活かす方法を身に付ける。 (鈴木(親))
文 化 と 資 料 演 習 1	Digital Humanities の考え方をを用いて人文学の資料を扱い、既存の人文知に新たな成果を付け加えていくことを学ぶ。 (鈴木(親))
文 化 と 資 料 演 習 2	Digital Humanities の考え方をを用いて人文学の資料を扱い、既存の人文知に新たな成果を付け加えていくことを学ぶ。 (鈴木(親))
思 考 と 論 理 研 究 1	論理に関する基礎的な事柄を学ぶ。 (黒田)
思 考 と 論 理 研 究 2	古典論理およびその上の算術と不完全性定理について学ぶ。 (堀畑)
思 考 と 論 理 研 究 3	様相論理の証明論と意味論を学ぶ。 (細川)
思 考 と 論 理 演 習 1	形式論理学の入門として形式的体系とその意味についての文献講読を行う。 (黒田)
思 考 と 論 理 演 習 2	数理論理学を計算機科学に応用する方法を文献講読を通じて身に付ける。 (黒田)
思 考 と 論 理 演 習 3	古典論理に関する文献講読を行う。 (堀畑)
思 考 と 論 理 演 習 4	算術に関する文献講読を行う。 (堀畑)
思 考 と 論 理 演 習 5	情報の哲学に関する英語論文を講読する。 (細川)
思 考 と 論 理 演 習 6	情報の論理に関する英語論文を講読する。 (細川)
情 報 と 人 間 研 究	情報メディアを記号の織物として読み解く情報記号論や文化社会学の基礎を学ぶ。 (山崎(隆))
情 報 と 人 間 演 習 1	近現代のメディア社会成立の背景をグローバリゼーション、対抗文化の問題系から考察する。 (山崎(隆))
情 報 と 人 間 演 習 2	メディア、文化、社会といった概念の構築の背景について、文献講読を通じて考える。 (山崎(隆))
基 礎 研 究	複合文化研究の最も基本的な方法論を学び、各自の専門分野研究の基礎を修得する。 (専任教員)
個 別 研 究 指 導	各自の研究課題をより明確化し、その研究のための方法論を身に付け、各自の研究課題に取り組む。 (専任教員)

3 専任教員の研究分野

教 授 黒田 覚 [数理論理学・論理と思考]

専門分野及び研究紹介

数理論理学を専攻しています。特に、限定算術と呼ばれる弱い算術体系と計算量理論の関係についての研究が中心です。この分野では計算量理論の重要な問題である $P \neq NP$ などの解決に対するアプローチとして、ある計算量クラスに対応する算術体系を定義し、それらの証明能力を測ることをおこないます。とくに多項式時間計算可能なクラスとその部分クラスに対しては、様々な数学の定理がどの体系で証明可能かを調べる限定逆数学とよばれるプログラムが提唱されており、これにより数学の定理に新たな視点をあてることもこの研究の重要な役割になっています。

著書・論文等

Generalized Quantifier and a Bounded Arithmetic theory for LOGCFL (Archive for Mathematical Logic, vol.46,2007)、限定算術と計算量理論の最近の話題 (日本数学会『数学』,60 巻,2008)、Complete Problems and Bounded Arithmetic for LOGCFL (Proceedings of Logical Approaches to Barriers in Computing and Complexity,2010)、Axiomatizing proof tree concepts in Bounded Arithmetic(Proceedings of Computer Science Logic 2012)、Sprague–Grundy theory in bounded arithmetic. (Arch. Math. Logic 61, 233–262, 2022)、Takeuti-Yasumoto Forcing Revisited, Computability Theory and Foundations of Mathematics, Proceedings of the 9th International Conference on Computability Theory and Foundations of Mathematics, Wuhan China, World Scientific, pp. 123-155 (2022)

准教授 鈴木 親彦 [文化資源学]

専門分野及び研究紹介

文化資源学および人文情報学を研究しています。研究対象が文化資源、研究方法が人文情報学と分類することも可能です。デジタル化され公開されている様々な人文学資料から、都市や地域に関わる情報を抽出し再編成することで、文化資源を活用可能にする研究を進めてきました。現在は国際的な画像共有規格である IIIF (International Image Interoperability Framework) を軸に、地域の資料と時空間情報を結び付け、情報空間上で資料を再構築することを試んでいます。同時に、人文学資料のデジタル化を進め、オープンに利用できる仕組みを研究しています。

著書・論文等

「IIIF Curation Platform を利用した狩野派粉本コレクションの画題整理」(『じんもんこん 2025 論文集』情報処理学会, pp. 55–60 2025 年)、『デジタルアーカイブ・ベーシックス 「メタデータ」 のパースペクティブ』(共著:「第 6 章 「デジタルアーカイブ」 からつくられた「データセット」 のメタデーターデジタル化資料内の「情報の位置」を軸として」、勉誠社 2025 年)、『デジタルアーカイブ入門 つかう・つくる・支える』(共著:「DA と DH——共通性と独自性・協働の可能性」勉誠社 2025 年)、『よくわかる歴史社会学』(分担執筆:「IV さまざまな歴史資料・データ 10 デジタルデータベース: デジタル空間で歴史を編む」、ミネルヴァ書房 2025 年)、『源氏絵研究の最前線』(共著:「第一章 デジタル画像: IIIF Curation Platform が美術史にもたらす「細部」と「再現性」 —絵入本・絵巻の作品比較を事例に」、勉誠社 2024 年)、『IIIF(トリプルアイエフ)で拓くデジタルアーカイブ: コンテンツの可能性を世界につなぐ』(共著:「第 3 部第 2 章 『顔貌コレクション』と IIIF Curation Platform: Interoperability が拓く利用者・研究者主導の画像活用」、文学通信 2024 年)、“Trait judgments of medieval Japanese illustrated portraits” (共著、Perception)、『共振するデジタル人文学とデジタルアーカイブ』(編著、勉誠社 2023 年)

准教授 細川 雄一郎 [様相の哲学・情報の哲学]

専門分野及び研究紹介

「様相」(現実性、可能性、必然性、偶然性などの総称) についての哲学と論理学を研究しています。近年、「情報」についての哲学と論理学の進展に伴い、「情報」概念の基礎に、この「様相」概念があることが明らかになってきました。そこで、この「様相の哲学」を基礎として、「情報の哲学」の研究も進めています。さらに、この「情報の哲学」は、たとえば人間がこの社会で AI やロボットとどのように共生・協働していくべきか、といった、最先端の問題に取り組む「情報の倫理」

の基礎になります。こうしてこの分野では、「様相の哲学」「情報の哲学」「情報の倫理」の問題が相伴って探究されます。

著書・論文等

Disagreement Among Analyses of Counterfactuals (Annals of the Japan Association for Philosophy of Science, 33, 69– 92, 2024)、Interpretation of hybrid counterfactual logic into hybrid tense logic: and comparison of their expressive power on temporal sphere models (Journal of Logic, Language and Information, 33, 391–418, 2024)、From counterfactual conditionals to temporal conditionals (Journal of Logic, Language and Information, 32, 677– 706, 2023)、「信念・知識・可能性——ゲティア反例の多領域様相論理による分析を通じて」(『科学基礎論研究』、科学基礎論学会、第 47 巻 1 号、pp. 15-34、2019)、L. フロリディ情報圏倫理の正当な評価のために」(『首都大学東京哲学教室ホームページ』、首都大学東京哲学教室、2019)、「カントの「可能性の図式」とウィトゲンシュタインの「範例」——哲学史における「クリプキ構造」の先駆概念として」(『首都大学東京哲学教室ホームページ』、首都大学東京哲学教室、2018)、「反事実条件文推論の動態論理による形式化」(『科学哲学』、日本科学哲学会、第 45 巻 1 号、pp. 17-33、2012)

准教授 堀畑 佳宏 [数理論理学・数学教育学]

専門分野及び研究紹介

数理論理学、特に (i)逆数学や (ii)文字列の結合に関する理論の研究を行っています。(i)の逆数学とは、数学の定理をその証明に必要な公理の強さで分類する分野です。数学の土台である公理を弱めることで、既存の数学の定理やその証明をより精密に分析することができます。(ii)の文字列に関する理論では、数ではなく文字列を対象とした公理の上で研究をします。数を扱う算術とは異なる理論ですが、算術の理論と互いに翻訳できる場合があります。文字列の理論を分析することで算術の新しい側面を見出せないか研究しております。また数理論理学は、数学を対象とする数学という意味でメタ数学と呼ばれることもあります。このメタな視点をもつ数理論理学を一つのモデルとして、数学教育に応用できないか探究しています。なぜ数学を学ぶのかに答えていきたいと思っています。

著書・論文等

Mathematics education for future engineers (Proceedings of "International Symposium on Advances in Technology Education", 2024), Mathematical attitude, hypotheses, and freedom (Proceedings of "International Congress on Mathematical Education", 2024), Mathematical attitude and the liberal arts (Proceedings of "International Symposium on Advances in Technology Education", 2023), 複素解析学の基礎と逆数学 (『数学セミナー』, 2021 年 2 月号, pp.36-39, 日本評論社, 2021), 数学的態度について(1) (日本数学教育学会高専・大学部会論文誌, 26(1), pp.112-114, 2020), Weak theories of concatenation and minimal essentially undecidable Theories (with Kojiro Higuchi, Archive for mathematical logic, 53(7-8), pp.835-853, 2014), Nonstandard second-order arithmetic and Riemann's mapping Theorem (with Keita Yokoyama, Annals of pure and applied logic, 165(2), pp.520-551, 2014), Weak theories of concatenation and arithmetic (Nortre Dame Journal of Formal Logic, 53(2), pp.203-222, 2012)

教授 山崎 隆広 [メディア論・情報と人間]

専門分野及び研究紹介

メディアと文化、社会の関わりを研究するメディア論を専攻しています。現在は主に 3 つの対象を研究の柱としています。まず、社会や技術の変容と我々の言説環境や読書環境の変容の相関について考察する、広く出版を対象としたメディア研究。2 つ目は映画やテレビなどの映像を記号学の視点から読み解く映像記号分析。そして、主にマスメディア以外の新しいメディア環境が社会においてどのような影響をもたらしていくのかを、実際にフィールドワークをしながら分析、考察していくオルタナティブメディア研究です。

著書・論文等

『音楽雑誌と政治の季節:戦後日本の言論とサブカルチャーの形成過程』(単著、青弓社、2024 年 6 月)、「井口一郎・鶴見俊輔・田村紀雄:日本における『コミュニケーション学』の成立と『オルタナティブ』という思想」『コミュニケーション学の誕生:W.シュラム学派から『思想の科学』井口一郎へのリレー』(解説執筆、田村紀雄著、社会評論社、2025 年 3 月)、「デジタルアーカイブ時代のエディトリアルとは:

人文学オープンデータ共同利用センター（CODH）とジャパンナレッジの共同プロジェクトを手がかりに、『出版研究 55』（鈴木親彦との共著、日本出版学会、2025 年 3 月）、「フィールドとしての『郡上村』：初期ブルデューの農山村調査を手がかりに」（田村紀雄監修、牛山佳菜代・川又実編『郡上村に電話がつながって 50 年——むらの生活はどう変わったか——』クロスカルチャー出版、2024 年 3 月）、A.Phillips, M.Bhaskar 編『オックスフォード 出版の事典』（植村八潮、柴野京子との共同監訳、丸善出版、2023 年 2 月）、「デジタル時代の読書についての史的、意味論的観点からの考察」『出版研究 51』（日本出版学会、2021 年 3 月）、「戦後雑誌メディアの〈他者〉表象をめぐる産業論的見地からの考察」『出版研究 49』（日本出版学会、2019 年 3 月）、「（翻訳）ブライアン・スタンリー・ターナー著「ニューメディアと浮遊する宗教」」（石田英敬／吉見俊哉／マイク・フェザーストーン＝編『デジタル・スタディーズ』東京大学出版会、2015 年 9 月）ほか

大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例の実施について

本学大学院では、学校、官公庁、企業等に現に在職している方が本学大学院へ入学する場合、下記のとおり、特例の実施を認めています。

この特例の適用を希望する場合は、以下の期日までに本学事務局入試広報係に連絡してください。

【第Ⅰ期】 6 月末日

【第Ⅱ期】 10 月末日

※期日がいずれも週休日である場合は、それよりも前の平日とする。

■特例の適用のために必要な条件と措置について

(文学研究科)

第 1 年次においては、勤務先には出勤しないで、本学大学院に登校して授業を受け、研究に専念し、修士課程の修了に必要な専門科目 30 単位のうち 24 単位以上を修得できる見込みがあり、かつ、第 2 年次においては、原則として毎週定期的に本学大学院に登校して、授業及び研究指導を受け、修士論文を提出できる見込みのある方が、受験出願時に特例の実施を申し出た場合には、第 2 年次には勤務先に復帰し、平常の勤務をしつつ、特例により履修することを認めています。

第 2 年次の授業は、勤務先での勤務の態様を考慮し、夜間（18:00～19:30）、週末、長期休業期間等も含めて行います。

長期履修学生制度の案内

社会人の様々な学習需要に対応し、大学院が多様で柔軟な学習機会を提供し、社会人の受入れを一層促進するため、平成 14 年 4 月 30 日付けで「大学院設置基準」の一部が改正されました。このことによって、職業に従事したままで大学院での専門分野の研究に取り組みたいが、2 年間では修了単位修得のための時間が十分に確保できない等の事情がある方が、長期にわたる教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出た場合には、大学院での長期にわたる教育課程の履修が可能となりました。

本学大学院においては、平成 16 年 4 月から長期履修学生の募集を開始しました。職業に就いているなど通常の学生よりも履修や研究指導を受ける時間の確保が困難な事情がある場合、標準修業年限（2 年）を超えて計画的な長期（最長 6 年）の履修が認められています。

この制度を利用する場合、入学試験を受け入学を許可された後、時間の確保が困難な事情等に基づいて本学に申請を行い、許可を受ける必要があります。制度の利用が許可された場合、2 年間分の授業料のみで履修をすることが可能です。

この制度の詳細は、早めに本学事務局教務係にお問い合わせください。

大学院修学休業制度の案内

大学院修学休業制度により公立学校教員はその身分を保有したまま、大学院にフルタイムで在学して、専修免許状を取得することが可能です。

文学研究科では、この制度を利用して専修免許状（国語・英語・美術）を取得しようとする積極的・意欲的な取り組みを支援します。

大学院修学休業制度の概要などは、次のとおりです。

□大学院修学休業制度の概要

- (1) 公立学校の教員で一種免許状又は特別免許状を所持する方は、任命権者の許可を受ければ、専修免許状を取得するため、1～3 年間大学院に在学し、その課程を履修するための休業をすることができます。
- (2) 大学院への派遣研修制度と異なり、教員が自らの意思で、学びたい大学院を選ぶことができます。
- (3) 休業期間中であっても教員としての身分を保有しますが、公立学校での職務には従事しません。
- (4) 休業期間中の給与は支給されません。

□大学院修学休業制度の効果

- (1) 日々の教育活動を通じて培われた問題意識について、大学院での専門的な研究や分析に基づいて理論的・体系的に整理することにより、より高度な実践力を身に付けることができます。
- (2) しばらく学校現場を離れてみることで、自らの教員生活を客観的に見つめ直す機会にすることができます。

□大学院修学休業制度利用中の経済支援

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を申請することができます（無利子貸与：月額5万円又は8万8千円、利子貸与：月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円）。
- (2) 公立学校共済組合の貸付を受けることができます（一般貸付：200万円以内、教育貸付：550万円以内）。

★ 大学院修学休業制度の詳細は、文部科学省又は勤務先の都道府県教育委員会へお問い合わせいただくか、文部科学省ウェブサイト (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyuugyou/syuugaku.htm) をご覧ください。

障害等により受験上の配慮を必要とする方の出願について

障害（学校教育法施行令第22条の3に該当する程度の身体障害等）を有する等のため、受験上の配慮を必要とする入学志願者は、事前に本学事務局入試広報係に連絡してください。

<連絡方法>

任意の様式により、氏名、住所、電話番号、志望研究科又は専攻、障害の種類及び程度、その他病状等を明記し、下記の連絡先に郵送（書留速達）してください。

連絡に基づき、必要に応じて個別に相談をします。

<相談時期>

下記の期日までを目安としますが、それ以降でも可能な限り相談に対応します。

【第Ⅰ期】7月31日(金) 【第Ⅱ期】11月30日(月)

群馬県立女子大学大学院

〒370-1193

群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

電 話 0270-65-8511

電話受付時間：8:30～17:15

※土日、祝日、年末年始を除く

F A X 0270-65-9538

E-mail: kenjo@mail.gpwu.ac.jp

<https://www.gpwu.ac.jp/>